

# 平成 25 年度 平塚市美術館年報 目次

<b>作品・資料</b> .....	2
(1) 収集	
(2) 展示	
(3) 貸出	
<b>展覧会</b> .....	7
(1) 特集展 絹谷幸二展 - 希望のイメージ -	
(2) 企画展 水彩画 みづゑの魅力 - 明治から現代まで -	
(3) 特集展 日本の絵 三瀬夏之介展	
(4) 企画展 はじめての美術 絵本原画の世界 2013	
(5) 特集展 藤山貴司展 - 闇と光の交錯 その彷徨と回顧 -	
(6) 企画展 友好都市提携記念特別展 伊豆市コレクションによる天才たちの 若き日 - 横山大観から速水御舟まで -	
(7) ロビー展 林辺正子の世界	
(8) 特集展 所蔵名品展 - 美術館で遊ぼう!! -	
(9) 特集展 所蔵名品展 - 新収蔵品を中心に -	
<b>教育普及</b> .....	35
<b>広報活動</b> .....	41
<b>その他の事業</b> .....	44
(1) 事業	
(2) 団体向け研修・体験プログラム	
(3) 実習および職場体験受け入れ	
(4) 定例会議	
(5) その他	
<b>施設利用者等の統計</b> .....	50
(1) 展覧会	
(2) 貸出施設	
<b>施設の管理</b> .....	52
(1) 防災訓練	
(2) 施設修繕等	
<b>沿革</b> .....	53

# 作品・資料

## (1) 収 集

### 購入作品

	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
1	木下晋	休息	2010年	73.0×103.0	鉛筆・ケント紙	1

### 寄贈作品

	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
1	大下藤次郎	静物(仮)	1904年	22.2×34.0	水彩・紙	1
2	大下藤次郎	風景(仮)	1904年	22.2×34.0	水彩・紙	1
3	大下藤次郎	風景(仮)	1899年	20.7×31.7	水彩・紙	1
4	大下藤次郎	夏	不詳	36.5×25.4	水彩・紙	1
5	大下藤次郎	風景(仮)	1904年	41.3×25.8	水彩・紙	1
6	尾形月耕	江口の君	明治20年代か	116.5×41.5	彩色・絹	1
7	絹谷幸二	あうん・祈り	1996年	193.9×259.1	ミクストメディア・キャンバス	1
8	久野和洋	実(じつ)	1980年	130.3×193.3	油彩・キャンバス	1
9	高良 眞木	恵子十八才	1971年	45.5×38.0	油彩・キャンバス	1
10	高良 眞木	畑(借宿風景)	1984年	41.1×53.3	油彩・キャンバス	1
11	高良 眞木	無題	1989年	52.9×36.9	紙	1
12	高良 眞木	ざくろ デッサン	不詳	35.1×49.7	紙	1
13	高良 眞木	丘の畑	不詳	50.1×60.5	油彩・キャンバス	1
14	高良 眞木	小屋のある風景	1983年	50.5×61.1	油彩・キャンバス	1
15	高良 眞木	椿 木立	不詳	52.0×44.0	油彩・キャンバス	1
16	高良 眞木	(1)表紙	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
17	高良 眞木	(2)山	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
18	高良 眞木	(3)星が降る	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
19	高良 眞木	(4)朝日の山	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
20	高良 眞木	(5)夜空	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
21	高良 眞木	(6)青空にのぼるコノハナサクヤ姫	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
22	高良 眞木	(7)2人の女神	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
23	高良 眞木	(8)光る玉を手渡す	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
24	高良 眞木	(9)光る玉 割れ目に	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
25	高良 眞木	(12)光る玉を池に返す	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
26	高良 眞木	(13)光る玉 山に帰る	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
27	高良 眞木	(16)6人の天女	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
28	高良 眞木	(17)晴れた日は	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
29	高良 眞木	(18)夜の山	2003年	28.8×40.8	淡彩・紙	1
30	高良 眞木	スケッチブック 01	1971-73年頃	41.2×32.6	紙	1
31	高良 眞木	スケッチブック 02	1963-1964年	41.2×32.8	紙	1

	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
32	高良 眞木	スケッチブック 03	1961-1962 年	42.0×33.2	紙	1
33	高良 眞木	スケッチブック 04	1993-94 年	41.5×33.5	紙	1
34	高良 眞木	スケッチブック 05	1974 年頃	41.6×32.4	紙	1
35	高良 眞木	スケッチブック 06	1958-59 年	42.3×32.6	紙	1
36	高良 眞木	スケッチブック 07	1963 年	42.3×32.6	紙	1
37	高良 眞木	スケッチブック 08	1984 年	42.3×32.5	紙	1
38	高良 眞木	スケッチブック 09	1960 年頃	42.6×32.8	紙	1
39	高良 眞木	スケッチブック 10	1960 年	42.3×32.5	紙	1
40	高良 眞木	スケッチブック 11	1975-78 年	42.0×33.0	紙	1
41	高良 眞木	スケッチブック 12	1983 年	42.0×33.0	紙	1
42	高良 眞木	スケッチブック 13	1971-72 年	45.6×38.5	紙	1
43	高良 眞木	スケッチブック 14	1974 年頃	48.0×38.0	紙	1
44	高良 眞木	スケッチブック 15	不詳	46.0×38.3	紙	1
45	高良 眞木	スケッチブック 16	1964-65 年頃	45.8×38.0	紙	1
46	高良 眞木	スケッチブック 17	1978-79 年	48.4×38.5	紙	1
47	高良 眞木	スケッチブック 18	1980-81 年	46.4×40.0	紙	1
48	高良 眞木	スケッチブック 19	1963-64 年	46.4×38.0	紙	1
49	高良 眞木	スケッチブック 20	不詳	48.5×54.5	紙	1
50	高良 眞木	スケッチブック 21	1959 年	12.4×18.0	紙	1
51	高良 眞木	スケッチブック 22	1957 年	12.7×18.0	紙	1
52	高良 眞木	スケッチブック 23	1966 年	25.2×18.1	紙	1
53	高良 眞木	スケッチブック 24	1956 年	17.2×25.1	紙	1
54	高良 眞木	スケッチブック 25	1958 年頃	18.0×25.3	紙	1
55	高良 眞木	スケッチブック 26	1978 年頃	26.1×18.9	紙	1
56	高良 眞木	スケッチブック 27	不詳	28.8×20.5	紙	1
57	高良 眞木	スケッチブック 28	1969-70 年頃	28.9×20.1	紙	1
58	高良 眞木	スケッチブック 29	1962-67 年頃	25.4×18.5	紙	1
59	高良 眞木	スケッチブック 30	1956 年	27.0×19.0	紙	1
60	高良 眞木	スケッチブック 31	1956 年	27.0×19.0	紙	1
61	高良 眞木	スケッチブック 32	1966 年	17.6×24.9	紙	1
62	高良 眞木	スケッチブック 33	1973 年頃	27.8×20.0	紙	1
63	高良 眞木	スケッチブック 34	1956-57 年	21.1×30.0	紙	1
64	高良 眞木	スケッチブック 35	1961-63 年	35.7×25.6	紙	1
65	高良 眞木	スケッチブック 36	1963 年頃	36.0×25.0	紙	1
66	高良 眞木	スケッチブック 37	1962 年	36.0×25.0	紙	1
67	高良 眞木	スケッチブック 38	1960 年頃	31.7×23.0	紙	1
68	高良 眞木	スケッチブック 39	1966 年頃	34.3×25.3	紙	1
69	高良 眞木	スケッチブック 40	不詳	34.2×25.2	紙	1
70	高良 眞木	スケッチブック 41	1956-57 年頃	35.6×25.5	紙	1
71	高良 眞木	スケッチブック 42	1958-59 年	35.7×25.0	紙	1
72	高良 眞木	スケッチブック 43	1983、92、94、 2006 年	35.5×75.2	紙	1

	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
73	高良 眞木	スケッチブック 44	1969年頃	36.0×25.0	紙	1
74	高良 眞木	スケッチブック 45	1966-67年	35.8×25.8	紙	1
75	高良 眞木	スケッチブック 46	1980年	35.8×25.7	紙	1
76	高良 眞木	スケッチブック 47	1957年	34.3×25.2	紙	1
77	高良 眞木	スケッチブック 48	1959-60年	34.5×26.2	紙	1
78	高良 眞木	スケッチブック 49	1985年頃	34.2×26.0	紙	1
79	高良 眞木	スケッチブック 50	1980-83年頃	35.9×25.9	紙	1
80	高良 眞木	スケッチブック 51	1957-65年頃	38.2×30.0	紙	1
81	高良 眞木	スケッチブック 52	1964年	39.4×28.0	紙	1
82	斉藤典彦	かのみず	2001年	280.0×194.0	彩色・絹	1
83	平野杏子	善財南に行く	1974年	194.0×130.3	油彩・キャンバス	1
84	吹田文明	明日は雪	1964年	60.0×45.5	木版・紙	1
85	吹田文明	白い線	1964年	60.5×45.5	木版・紙	1
86	吹田文明	二つの円	1966年	90.5×59.0	木版・紙	1
87	吹田文明	美しき星	1967年	45.3×60.8	木版・紙	1
88	吹田文明	虹は花の色を盗んで咲く	1968年	60.5×73.5	木版・紙	1
89	吹田文明	聖なる夜る	1981年	69.3×59.5	木版・紙	1
90	吹田文明	赤い星	1983年	68.2×59.5	木版・紙	1
91	吹田文明	南に散りし友に捧ぐ(戦後50年の鎮魂歌)	1995年	50.9×87.8	木版・紙	1
92	吹田文明	宇宙華	1998年	87.7×60.2	木版・紙	1
93	吹田文明	矢羽飛ぶA	2003年	60.3×89.7	木版・紙	1
94	藤山貴司	文盲うさぎは舌で世界を知覚する	1999年	180.0×230.0	アクリル・キャンバス	1
95	藤山貴司	根ぐされ言語は水瓶の底に隠される	1999年	194.0×306.0	油彩・キャンバス	1
96	藤山貴司	連なりうさぎ・遠い感情	2001年	230.0×183.0	油彩・キャンバス	1
97	藤山貴司	連なりうさぎ・草の陰	2001年	230.0×166.0	油彩・キャンバス	1
98	藤山貴司	眼なしうさぎの行進・セフィロト	2007年	232.0×569.0	油彩・キャンバス	1
99	堀井英男	仮装 No.2	1966年	21.0×22.8	銅版・紙	1
100	堀井英男	窓	1967年	45.0×42.0	銅版・紙	1
101	堀井英男	サーカス	1967年	55.0×42.0	銅版・紙	1
102	堀井英男	リボン	1967年	58.0×42.0	銅版・紙	1
103	堀井英男	お早う	1968年	43.5×58.0	銅版・紙	1
104	堀井英男	花の季節 No.1	1968年	58.5×41.5	銅版・紙	1
105	堀井英男	花の季節 No.2	1968年	58.5×41.5	銅版・紙	1
106	堀井英男	ロビーで(B)	1969年	32.0×21.0	銅版・紙	1
107	堀井英男	みつめる	1976年	36.5×45.5	銅版・紙	1
108	堀井英男	ブルーボックス	1976年	42.5×32.0	銅版・紙	1
109	堀井英男	魔に憑かれて	1976年	47.0×36.5	銅版・紙	1
110	堀井英男	奇妙な関係	1976年	42.5×30.0	銅版・紙	1
111	堀井英男	白の幻想A	1976年	42.5×58.0	銅版・紙	1
112	堀井英男	恋人の朝	1970年	31.5×20.6	銅版・紙	1

	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
113	堀井英男	二つの間に 80-7	1980年	47.5×57.5	銅版・紙	1
114	堀井英男	二つの間に 80-8	1980年	47.5×57.5	銅版・紙	1
115	堀井英男	二つの間に 80-10	1980年	27.0×36.5	銅版・紙	1
116	堀井英男	二つのポーズ	1980年	31.0×42.5	銅版・紙	1
117	堀井英男	二つの像	1980年	42.5×31.0	銅版・紙	1
118	堀井英男	magic room82-8	1982年	42.5×58.0	銅版・紙	1
119	堀井英男	magic room82-9	1982年	42.5×58.0	銅版・紙	1
120	堀井英男	magic room82-11(B)	1982年	42.5×58.0	銅版・紙	1
121	堀井英男	回転する像 81～83	1983年	直径 45.0	銅版・紙	1
122	堀井英男	magic room84-5	1984年	58.0×42.0	銅版・紙	1
123	堀井英男	或る記憶のそとで 86-1	1986年	42.5×58.0	銅版・紙	1
124	堀井英男	或る記憶のそとで 87-1	1987年	42.5×58.0	銅版・紙	1
125	堀井英男	無題(108-88)	1988年	36.9×26.9	水彩・紙	1
126	堀井英男	Kの肖像	1989年	66.0×50.5	水彩・紙	1
127	堀井英男	開かれた顔 90	1993年	60.7×45.5	水彩・紙	1
128	堀井英男	無題(11-93)	1993年	50.0×65.5	水彩・紙	1
129	堀井英男	無題(48-92)	1992年	22.0×30.4	水彩・紙	1
130	三橋兄弟治	新雪のアラゴン	1989年	110.5×144.0	水彩・紙	1
131	三橋兄弟治	プエンテ・ロマノ	1989年	89.0×115.1	水彩・紙	1
132	三橋兄弟治	バルデロブレスの古城	1995年	71.5×89.5	水彩・紙	1
133	三橋兄弟治	アスツリアスの漁港	1987年	98.0×146	水彩・紙	1
134	三橋兄弟治	城趾のある街	1991年	73.1×117.4	水彩・紙	1
135	三宅克己	鎌倉	不詳	24.3×33.4	水彩・紙	1
136	湯原和夫	作品 No.2-05	2003年	27.0×24.5×22.0	シリコン、ガラス	1
137	湯原和夫	無題 No.14-73	1973年	31.0×47.5×55.7	真鍮、塗装	1
138	湯原和夫	4つの等しい円筒による門	1972年	18.0×18.0×17.5	真鍮、クロームメッキ	1

## 寄託作品

	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質	員数
1	野見山暁治	明日にしよう	2001年	38.0×50.0	水彩・紙	1
2	野見山暁治	ながい一日	2001年	34.5×51.0	水彩・紙	1
3	野見山暁治	どうしよう	2001年	56.5×38.0	水彩・紙	1
4	野見山暁治	水の音	2001年	68.5×50.0	水彩・紙	1
5	野見山暁治	電話しよう	2001年	56.5×38.0	水彩・紙	1
6	野見山暁治	嘘じゃない	2012年	66.0×92.5	水彩・紙	1
7	野見山暁治	振り返るな	2012年	66.0×92.5	水彩・紙	1
8	野見山暁治	何と伝えよう	2012年	92.5×66.0	水彩・紙	1

## (2) 展 示

当館展覧会において下表のとおり作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	特集展	絹谷幸二展 - 希望のイメージ -	30	1	29
2	企画展	水彩画 みづゑの魅力 - 明治から現代まで -	173	3	170
3	特集展	日本の絵 三瀬夏之介展	25	0	25
4	企画展	はじめての美術 絵本原画の世界 2013	327	0	327
5	特集展	藤山貴司展 - 闇と光の交錯 その彷徨と回顧 -	30	7	23
6	企画展	伊豆市コレクションによる天才たちの若き日 - 横山大観から速水御舟まで -	71	0	71
7	ロビー展	林辺正子の世界	15	13	2
8	特集展	所蔵名品展 - 美術館で遊ぼう!! -	43	43	0
9	特集展	所蔵名品展 - 新収蔵品を中心に -	46	46	0
計	-	-	<b>762 点</b>	<b>114 点</b>	<b>648 点</b>

## (3) 貸 出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表の通り作品を貸出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	三重県立美術館	「三沢厚彦 ANIMALS2013 in 三重」7月13日～9月23日	2	三沢厚彦《Animal2007-01》《Animal2007-02》
2	神奈川県立近代美術館 葉山	「戦争 / 美術 1940 - 1950 - モダニズムの連鎖と変容」7月6日～10月14日	3	鳥海青児《アカシア》《天津とフランス寺院》《沖縄風景》
3	富山県立近代美術館	「白寿記念 郷倉和子展 - 心の調べ」9月21日～11月24日	1	郷倉和子《飛鳥路の春》
4	横浜美術館	「横山大観展 良き師、良き友」10月5日～11月24日	2	今村紫紅《入る日・出る月(画稿)》《水汲む女・牛飼う男》
5	一宮市三岸節子記念美術館	「ヴェネチア展」10月5日～11月24日	2	鳥海青児《サンマルコの広場》、別府貫一郎《霧のゴンドラ》
6	宮城県美術館、町立久万美術館、新潟市美術館	「洲之内徹と現代画廊 - 昭和を生きた目と精神 - 」宮城県美術館：11月2日～12月23日 / 町立久万美術館：平成26年1月25日～3月16日 / 新潟市美術館：4月12日～6月8日	1	原精一《煙草のむ男》
7	茨城県近代美術館	「聖なるものへ - ひそやかな祝祭 - 」11月2日～平成26年1月13日	5	伊藤彬《山水うつろふ 2》、山本直彰《IKAROS 901》《PIETA 20062》、木下晋《休息》《無心》
8	豊田市美術館	「愛・知のリアリズム - 宮脇晴の周辺」平成26年1月7日～4月6日	1	椿貞雄《鵠沼風景》
9	世田谷美術館、岡山県立美術館	「岸田吟香・劉生・麗子 - 知られざる精神の系譜」世田谷美術館：平成26年2月8日～4月6日 / 岡山県立美術館：4月18日～5月25日	5	岸田劉生《石垣ある道》《自画像》《大連風景(路傍秋晴)》《新富座》《松坂屋風景》
10	東京都美術館	「世紀の日本画」3月1日～4月1日	1	北澤映月《女人記》
計	-	-	<b>23 点</b>	-

# 展覧会

## 1 絹谷幸二展 - 希望のイメージ -

種別	特集展
会期	4月13日(土)～6月2日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30)
休館日	月曜日 *4月29日(月・祝)、5月6日(月・祝)開館、4月30日(火)は休館。
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	45日
入場者数	9,425人
担当	勝山滋(当館学芸員)



《銀嶺の女神》1997年



《大和心 ヤマトタケル》2012年



《ピエロ・デラ・フランチェスカ模写》  
1973 年頃

### 内容

絹谷幸二(きぬたにこうじ: 1943 - ) は奈良生まれ。箱根にアトリエを構え、神奈川ともゆかりの深い洋画家であり、フレスコ画の第一人者として活躍し、日本芸術大賞、毎日芸術賞を受賞するほか、日本芸術院会員となり、東京芸術大学や大阪芸術大学などで教鞭をとってきました。近年は「子ども 夢・アート・アカデミー」(文化庁・日本芸術院主催)の講師として小中高校で出張授業を行うなど社会、教育とのかかわりにも力をいれ、1998年長野五輪でのポスター原画(《銀嶺の女神》)、同時多発テロに際して平和を希求した自画像、近年日本の歴史をさかのぼる古事記シリーズや立体造形にも才能を発揮するなど、あざやかで奔放な希望のイメージを発信し続けています。

本展は2013年に古稀をむかえる作家を取り上げ、東京芸術大学の卒業制作である《自画像》、新発見・初出品となるピエロ・デラ・フランチェスカ作品模写ほかのイタリア留学時代の模写、近年の日本へ思いを巡らせた古事記シリーズにいたるあざやかで多彩な画業を紹介しました。

## 関連事業

### 講演会

日時：4月29日(月・祝) 14:00～15:30

講師：絹谷幸二氏(洋画家)

参加者数：212人

場所：ミュージアムホール 申込不要

### 学芸員によるギャラリートーク

日時：4月13日(土)、5月4日(土)、6月2日(日) 各回14:00～15:00

参加者数：4月13日20人、5月4日20人、6月2日30人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

### ワークショップ「絹谷幸二のPOWER絵画塾」

日時：5月25日(土)

講師：絹谷幸二氏(洋画家)

参加者数：19人

場所：アトリエ 要申込

## 出品作品リスト

	作品名	制作年	材質	寸法(cm)	所蔵
1	自画像	1966年	油彩、カンバス	53.0×45.5	
2	諧音の跡	1967年	油彩、カンバス	150.0×200.0	
3	蒼の風跡	1969年	油彩、カンバス	133.0×168.0	
4	ジョット「降誕と牧人のお告げ」模写	1971年	アフレスコ・ストラッポ、綿布	72.0×100.0	
5	ジョット「キリスト復活」模写	1972年	アフレスコ・ストラッポ、綿布	72.7×100.0	
6	ジョット「死せるキリストへの落涙」	1972年	アフレスコ・ストラッポ、カンバス	96.6×122.6	
7	バエスタム「跳び込み者」模写	1972年	アフレスコ・ストラッポ、綿布	72.7×96.0	
8	ピエロ・デラ・フランチェスカ作品模写(アレツォ・イタリア)	1973年頃	アフレスコ	77.5×88.5	平塚市美術館
9	りんご(草原にて)	1973年	油彩、カンバス	80.0×60.0	
10	アンセルモ氏の肖像	1973年	アフレスコ・ストラッポ、カンバス	80.3×100.0	東京国立近代美術館
11	アンジェラと蒼い空	1976年	顔彩、カンバス	193.9×259.1	東京国立近代美術館
12	夢・ヴェネツィア(カーレ・デッラ・マンドラ)	1978年	ミクスト・メディア、カンバス	193.0×259.1	
13	NELLA SABBIA(砂の中)	1982年	ミクスト・メディア、カンバス	181.8×227.3	
14	うずもれしは砂の愛	1984年	ミクスト・メディア、カンバス	193.9×259.0	
15	フランチェスカとゾッティ氏の肖像	1987年	ミクスト・メディア、カンバス	130.3×162.0	世田谷美術館
16	アルベリ(木霊)	1990年	ミクスト・メディア、カンバス	180.5×226.0	世田谷美術館
17	あうん・祈り	1996年	ミクスト・メディア、カンバス	193.9×259.1	
18	銀嶺の女神 (長野冬季五輪ポスター原画)	1997年	ミクスト・メディア	91.0×72.8	
19	ニューヨークの天使	1998年	顔彩、スティロフォーム	190.0×190.0×60.0	
20	菩提心：白牛大威徳明王・温顔慈	2003年	ミクスト・メディア、カンバス	各259.1×193.9	



	作品名	制作年	材質	寸法(cm)	所蔵
	悲阿弥陀如来・降魔剣不動明王				
21	自画像・夢	2005年	顔彩、カンバス	193.9×259.1	
22	漆黒の自画像	2006年	顔彩、カンバス	193.9×259.1	
23	蒼天富岳龍宝図	2009年	ミクスト・メディア、カンバス	181.8×227.3	
24	発火激情(平和を祈る自画像)	2010年	顔彩、カンバス	193.9×259.1	
25	再生日本宝船	2011年	ミクスト・メディア、カンバス	130.3×162.0	
26	波乗り七福神	2011年	ミクスト・メディア、カンバス	130.3×162.0	
27	光輝 大和遠望	2012年	顔料、カンバス	193.9×259.1	
28	大和心 ヤマトタケル	2012年	顔料、カンバス	193.9×130.3	
29	神武ヤタガラス(立体)	2012年	スチロフォーム、顔彩	186.0 × 159.0 × 145.0	
30	古事記シリーズ・エスキース(7点)	2012年	ミクスト・メディア、カンバス		

## 2 水彩画 みづゑの魅力 明治から現代まで

種別	企画展
会期	4月20日(土)～6月16日(日)
主催	平塚市美術館 美術館連絡協議会 読売新聞社
特別協力	島根県立石見美術館
協賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30)
休館日	月曜日 *4月29日(月・祝)、5月6日(月・祝)開館、4月30日(火)は休館。
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	51日
入場者数	14,104人
担当	土方明司(当館館長代理)、安部沙耶香(当館学芸員)



《庭園の少女》1914年



中西利雄《彫刻と女》1939年



野見山暁治《ながい一日》2001年

### 内容

明治期に始まった近代水彩画は明治30年頃より、大下藤次郎などの普及活動も手伝い大きな「水彩画ブーム」を引き起こしました。この水彩画への親近は、大正になるとすそ野を広げ一般の愛好家を増やしますが、洋画家の間では油彩画が主流となり、画壇の表舞台では傍流の立場にとどまりました。しかし、水彩画の独特の表現はその身近さとあいまって油彩画家たちにも愛され、数多くの優品を残すことになります。さらに、現代においてもその魅力は忘れられることなく、多くの画家によって新たな表現の可能性が試されています。本展では、こうした日本の水彩画の歩みと多様な表現を明治から現代までの作品によって紹介いたしました。

展示構成は以下のとおりです。

#### 【第一部】

明治期の水彩画を紹介します。浅井忠、青木繁、また『水彩画の栞』を著わし、水彩画の普及に大きく貢献した大下藤次郎の作品を中心に、三宅克己、丸山晚霞、吉田博などを展示しました。

#### 【第二部】

大正・昭和にかけての水彩画作品を紹介します。中西利雄など水彩画家のほか岸田劉生、村山槐多、萬鉄五郎、古賀春江ら油彩画家であると同時に、水彩表現に新たな可能性を託した画家たちを展示しました。

#### 【第三部】

現代。多様な表現が生まれる中、水彩絵の具にこだわり独自の表現を探求する画家たちの作品を展示しました。難波田史男、麻生三郎、若林奮、小山田二郎、野見山暁治、山口晃、押江千衣子ほか。

## 関連事業

講演会「明治期の水彩画 大下藤次郎を中心に - 」

日時：5月19日(日)14:00～15:30

講師：川西由里氏(島根県立石見美術館 主任学芸員)

参加者数：40人

場所：ミュージアムホール 申込不要

担当学芸員によるギャラリートーク

5月5日(日)、26日(日)、6月9日(日) 14:00～14:40

参加者数：5月5日40人、5月26日50人、6月9日50人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「水彩絵具で遊ぼう!!」

日時：5月18日(土)13:30～16:30

講師：竹中美幸氏(本展出品作家)

参加者数：11人

場所：アトリエ 要申込

展覧会図録『水彩画 みづゑの魅力 明治から現代まで』

発行月：2013年4月

価格：3,000円

体裁：B5版、199頁

編集：土方明司

内容：第1章 明治期の水彩画/ 第2章 大下藤次郎と「水彩画の栞」 / 第4章 昭和から現代へ  
/資料編「明治期の水彩画 風景の発見」土方明司 /略歴 年表 掲載作品目録

発行：青幻舎

## 出品作品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	展示
1	チャールズ・ワグマン	御茶漬屋	制作年不詳	水彩・紙	横浜美術館	
2	チャールズ・ワグマン	舟遊び	1876年	水彩・紙	横浜美術館	
3	五姓田義松	修善寺風景	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	前期
4	浅井忠	河畔洋館	1902年	水彩・紙	泉屋博古館分館	
5	浅井忠	農家室内	1887年	水彩・紙	茨城県近代美術館	
6	浅井忠	樹林	1903年	水彩・紙	茨城県近代美術館	
7	浅井忠	グレーの森	1901年	水彩・紙	泉屋博古館分館	
8	浅井忠	秋林	1903年	水彩・紙	泉屋博古館分館	
9	丸山晩霞	高原の秋草	1902-1910 年頃	水彩・紙	倉沢紀武氏	

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	展示
10	丸山晚霞	紅葉下の溪流	1902-1911 年頃	水彩・紙	倉沢紀武氏	
11	丸山晚霞	拝殿	1902-1912 年頃	水彩・紙	倉沢紀武氏	
12	三宅克己	風景	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	前期
13	三宅克己	パッキンガム宮殿 の前	大正期	水彩・紙	茨城県近代美術館	
14	三宅克己	信州木崎湖の初夏	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	後期
15	三宅克己	郊外 戸山原	1911-1912 年	水彩・紙	平塚市美術館寄託	
16	三宅克己	ハムプステッドに 於て吾宿の花園	1898年	水彩・紙	泉屋博古館分館	
17	アルフレッド・イースト	長崎	1889年	水彩・紙	横浜美術館	
18	アルフレッド・イースト	日光五重塔	1889年	水彩・紙	横浜美術館	
19	アルフレッド・イースト	荒れ模様	1889年頃	水彩・紙	郡山市立美術館	
20	アルフレッド・パーソンズ	鎌倉の茶店	制作年不詳	水彩・紙	郡山市立美術館	
21	ジョン・ヴァーレー	宮島の街並	制作年不詳	水彩・紙	郡山市立美術館	
22	吉田博	中禅寺 日光	1894-1899 年	水彩・紙		
23	吉田博	浅間山	1894-1899 年	水彩・紙		
24	吉田博	池畔	1894-1899 年	水彩・紙		
25	吉田博	池の鯉	1902年	水彩・紙		
26	吉田博	晩秋風景	1901-1903 年	水彩・紙		
27	吉田博	朝	1901-1903 年	水彩・紙		
28	吉田ふじを	イーストグロスター	1904年	水彩・紙		
29	吉田ふじを	ウォリック城	1906年	水彩・紙		
30	吉田ふじを	ヴェニス	1906年	水彩・紙		
31	青木繁	豎琴を持てる女	1904年	水彩・紙	梅野レイ子氏	
32	青木繁	黄泉比良坂	1903年	水彩、色鉛筆、 パステル・紙	東京藝術大学	後期
33	大下藤次郎	相州秋谷	1897年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
34	大下藤次郎	綾瀬	1897年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
35	大下藤次郎	シドニー湾	1898年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
36	大下藤次郎	メルボルン港	1898年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
37	大下藤次郎	金剛甲板にて	1898年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
38	大下藤次郎	赤道直下にて	1898年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
39	大下藤次郎	夏	1899年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
40	大下藤次郎	風景	制作年不詳	水彩・紙	島根県立石見美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	展示
41	大下藤次郎	青梅	1904年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
42	大下藤次郎	村の寺	1904年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
43	大下藤次郎	秋谷の漁村	1905年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
44	大下藤次郎	早春	1904年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
45	大下藤次郎	秋の雲	1904年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
46	大下藤次郎	水辺の山	制作年不詳	水彩・紙	島根県立石見美術館	
47	大下藤次郎	檜原湖の秋	1907年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
48	大下藤次郎	猪苗代	1907年頃	水彩・紙	島根県立石見美術館	
49	大下藤次郎	多摩川畔	1907年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
50	大下藤次郎	夕日	制作年不詳	水彩・紙	島根県立石見美術館	
51	大下藤次郎	暮景	制作年不詳	水彩・紙	島根県立石見美術館	
52	大下藤次郎	波	1907年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
53	大下藤次郎	猪苗代	1907年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
54	大下藤次郎	西山峠	1909年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
55	大下藤次郎	穂高山の残雪	1907年頃	水彩・紙	島根県立石見美術館	
56	大下藤次郎	飯坂	1907-1911年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
57	大下藤次郎	徳本小屋のほとり	1907-1911年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
58	大下藤次郎	磐梯山噴火口	1907年	水彩・紙	島根県立石見美術館	
59	大下藤次郎	残雪	1907年頃	水彩・紙	島根県立石見美術館	
60	萬鉄五郎	雨の風景	1904年	水彩・紙	岩手県立美術館	
61	萬鉄五郎	夕陽の砂丘	1912-1913年	水彩、鉛筆・紙	岩手県立美術館	
62	萬鉄五郎	飛び込む	1921年頃	水彩、鉛筆・紙	岩手県立美術館	
63	萬鉄五郎	漁村の朝	1923年頃	水彩、鉛筆・紙	岩手県立美術館	
64	萬鉄五郎	鳥居のある砂丘越しの海	1923年頃	水彩、鉛筆・紙	岩手県立美術館	
65	萬鉄五郎	高麗山の見える砂丘	1923年頃	水彩、鉛筆・紙	岩手県立美術館	
66	萬鉄五郎	砂丘の富士	1923年頃	水彩、鉛筆・紙	岩手県立美術館	
67	萬鉄五郎	薄明かりの浜	1924年頃	水彩、鉛筆・紙	岩手県立美術館	
68	萬鉄五郎	砂丘の冬	1924年頃	水彩、鉛筆・紙	岩手県立美術館	
69	萬鉄五郎	えぼし岩のみえる海	1924年	水彩、鉛筆・紙	岩手県立美術館	
70	岸田劉生	落合村ノ新緑	1907年	水彩・紙	東京国立近代美術館	
71	岸田劉生	生活(たつき)	1907年	水彩・紙	東京国立近代美術館	
72	岸田劉生	画家自画像	1918年	水彩、木炭、コンテ、チョーク・紙	東京国立近代美術館	前期
73	岸田劉生	麗子六歳之像	1919年	水彩、木炭・紙	泉屋博古館分館	
74	岸田劉生	自画像	1920年	水彩、鉛筆・紙	東京都現代美術館	
75	岸田劉生	村娘	1921年	水彩、鉛筆・紙	神奈川県立近代美術館	
76	岸田劉生	村娘於松立像	1921年	水彩・紙	東京国立近代美術館	後期
77	古賀春江	婦人像	大正中期	水彩・紙	茨城県近代美術館	
78	古賀春江	自画像	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	前期
79	古賀春江	窓辺の婦人	1919年頃	水彩・紙	東京国立近代美術館	
80	古賀春江	土堤下の路	制作年不詳	コンテ、水彩・紙	府中市美術館	後期

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	展示
81	古賀春江	遊園地	1926年	水彩・紙	東京国立近代美術館	
82	古賀春江	船着場	1926年	水彩・紙	東京国立近代美術館	
83	古賀春江	朗らかな春	1930年	水彩、インク・紙	財団法人川端康成記念会	
84	古賀春江	赤い風景	1926年	水彩・紙	東京国立近代美術館	
85	古賀春江	室内	1926年	水彩、鉛筆・紙	東京国立近代美術館	
86	村山槐多	小杉未醒氏庭園にて	1914年	水彩・紙	信濃デッサン館	
87	村山槐多	川のある風景	1914年	水彩・紙	府中市美術館	
88	村山槐多	朱の風景(写真パネル)	1914年	水彩・紙		
89	村山槐多	田端の崖	1914年	水彩・紙	信濃デッサン館	
90	村山槐多	朱の風景	1914年	水彩・紙	信濃デッサン館	
91	村山槐多	二少年図	1914年	水彩・紙		
92	村山槐多	紙風船をかぶれる自画像	1914年	水彩、鉛筆・紙		
93	村山槐多	自画像	1914年	水彩、コンテ・紙		
94	村山槐多	庭園の少女	1914年	水彩・紙	福島県立美術館	
95	村山槐多	カナナと少女	1915年	水彩・紙		4/20-29, 6/7-16
96	小出檜重	横たわる裸婦	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	
97	小出檜重	裸婦	1930年頃	水彩・紙	茨城県近代美術館	
98	長谷川利行	浅草風景	1936年	水彩、鉛筆・紙		
99	長谷川利行	横臥婦	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	
100	長谷川利行	茶房の女達	制作年不詳	パステル、水彩・紙	府中市美術館	
101	長谷川利行	浅草ロック	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	
102	小熊秀雄	ピストル	1930年代	水彩、インク・紙	豊島区	
103	小熊秀雄	飛翔するイメージ-童話風に	1930年代	水彩、インク・紙	豊島区	
104	小熊秀雄	たき火にあたる人物	1930年代	水彩、インク・紙	豊島区	
105	小熊秀雄	三人の人物とカエル	1930年代	水彩、インク・紙	豊島区	
106	小熊秀雄	河童	1930年代	クレヨンかインク・紙	豊島区	
107	小熊秀雄	寺田政明像(1)	1930年代	水彩、インク・紙	豊島区	
108	小熊秀雄	きのふは嵐けふは晴天	1930年代	水彩、インク・紙	豊島区	
109	中西利雄	彫刻と女	1939年	水彩・カンヴァス	茨城県近代美術館	
110	中西利雄	トリエール風景	1930年	水彩・紙	茨城県近代美術館	
111	中西利雄	花	1932年	水彩・紙	茨城県近代美術館	
112	中西利雄	和装	1937年	水彩・紙	茨城県近代美術館	
113	鳥海青児	沖縄風景	1939年頃	水彩・紙	平塚市美術館	

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	展示
114	鳥海青児	風景	制作年不詳	インク、水彩・紙	平塚市美術館	
115	三岸好太郎	海と射光	1934年	インク、水彩・紙	神奈川県立近代美術館	
116	三岸好太郎	横向きの道化	1929年	水彩・紙	神奈川県立近代美術館	
117	小堀進	驟雨	1947年	水彩・紙	茨城県近代美術館	
118	小堀進	海	1937年	水彩・紙	茨城県近代美術館	
119	小堀進	朝陽（霞ヶ浦）	1955年	水彩・紙	茨城県近代美術館	
120	鶴岡政男	サンチョ・パンサ	制作年不詳	水彩・色紙	府中市美術館	
121	鶴岡政男	ドン・キホーテ	制作年不詳	水彩・色紙	府中市美術館	
122	麻生三郎	人-20	1992年	水彩、鉛筆・紙	神奈川県立近代美術館	
123	麻生三郎	人-8	1991年	水彩、木炭、鉛筆・紙	神奈川県立近代美術館	
124	麻生三郎	子供	1952年	水彩、墨・紙	神奈川県立近代美術館	
125	小山田二郎	ピエタ	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	
126	小山田二郎	子供	1980年	水彩・紙	府中市美術館	
127	小山田二郎	角達の饗宴	1978年	水彩・紙	府中市美術館	
128	小山田二郎	鳥女	1977年	水彩・紙	府中市美術館	
129	小山田二郎	鳥女	1982年	水彩・紙	府中市美術館	
130	小山田二郎	蕩児帰る	1980年	水彩・紙	府中市美術館	
131	小山田二郎	二つの家	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	
132	小山田二郎	蛙の国	制作年不詳	水彩・紙	府中市美術館	
133	野見山暁治	明日にしよう	2001年	ペン、インク、水彩・紙		
134	野見山暁治	ながい一日	2001年	ペン、インク、水彩・紙		
135	野見山暁治	どうしよう	2001年	ペン、インク、水彩・紙		
136	野見山暁治	水の音	2001年	ペン、インク、水彩・紙		
137	野見山暁治	電話しよう	2001年	ペン、インク、水彩・紙		
138	野見山暁治	嘘じゃない	2012年	水彩・紙		
139	野見山暁治	振り返るな	2012年	水彩・紙		
140	野見山暁治	何と伝えよう	2012年	水彩・紙		
141	堀井英男	無題(108-88)	1988年	水彩、パステル、雲母・紙		
142	堀井英男	Kの肖像	1989年	水彩、鉛筆、雲母、コラーージュ・紙		
143	堀井英男	開かれた顔 90	1993年	水彩、鉛筆、ペン、雲母、コラーージュ・紙		
144	堀井英男	無題(11-93)	1993年	水彩、パステル、コラーージュ・紙		
145	堀井英男	無題(48-92)	1992年	水彩、ペン、雲母、コラーージュ・紙		

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	展示
146	若林奮	1999.01.29.025	1999年	水彩・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
147	若林奮	1999.01.29.023	1999年	水彩・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
148	若林奮	2001.04.21.048	2001年	鉛筆、水彩・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
149	若林奮	2001.05.03.299	2001年	色鉛筆、水彩、 墨・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
150	若林奮	2001.06.23.119	2001年	鉛筆、色鉛筆、 水彩・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
151	若林奮	2001.06.28.144	2001年	鉛筆、色鉛筆、 水彩・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
152	若林奮	2001.02.18.297	2001年	鉛筆、色鉛筆、 水彩・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
153	若林奮	2001.06.21.108	2001年	色鉛筆、水彩、 墨・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
154	若林奮	1999.02.22.041	1999年	鉛筆、水彩、フ ェルトペン・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
155	若林奮	2002.01.19.030	2002年	鉛筆、色鉛筆、 水彩・紙	WAKABAYASHI STUDIO	
156	難波田史男	無題	1963年	水彩、インク・ 紙	世田谷美術館	
157	難波田史男	祭壇	1971年	水彩、インク・ 紙	世田谷美術館	
158	難波田史男	無題	1972年	水彩、インク・ 紙	世田谷美術館	
159	難波田史男	無題	1973年	水彩、インク・ 紙	世田谷美術館	
160	難波田史男	夕空と舟	1972年	水彩、インク・ 紙	世田谷美術館	
161	難波田史男	無題	1969年	水彩、インク・ 紙	世田谷美術館	
162	難波田史男	白い太陽	1973年	水彩、インク・ 紙	世田谷美術館	
163	山口晃	百貨店圖 日本橋 三越	2004年	水彩、ペン・紙	株式会社三越伊勢丹	
164	山口晃	地下鐵道之圖	2007年	水彩、ペン・紙		
165	山口晃	表紙原画 「ドナウ ある川の 伝記」	2011年	水彩、ペン・紙		
166	押江千衣子	家庭	2013年	水彩、パステ ル・紙		
167	竹中美幸	地中の闇	2013年	水彩、パステ ル、墨他・ 水彩紙		
168	竹中美幸	ホワイトアウト	2013年	水彩、樹脂・ア クリル板、 水彩紙、透写紙		
169	竹中美幸	やわらかな芽	2013年	水彩、パステ ル、墨他・ 水彩紙		



No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	展示
170	宮本佳美	silent	2013年	水彩、アクリル・綿布		
171	宮本佳美	canon	2013年	水彩、アクリル・紙		
172	北村佳奈	ハッピーセラピー	2011年	水彩・紙		
173	北村佳奈	Appear only where you want to see.	2012年	水彩・紙		

### 3 日本の絵 三瀬夏之介展

種別	特集展
会期	7月13日(土)～9月16日(月・祝)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30) 「はじめての美術 絵本原画の世界2013」開催中は開館時間を1時間延長。
休館日	月曜日 *7月15日(月・祝)、9月16日(月・祝)は開館、翌火曜は休館
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	57日
入場者数	21,307人
担当	江口恒明(当館学芸員)



《肘折幻想》 2009年

#### 内容

本展では、三瀬夏之介の近作・最新作を中心に大学卒業制作を含めた25点により、その表現を紹介しました。

三瀬は1973年、奈良に生まれ、1999年に京都市立芸術大学大学院を修了。その後、奈良の高校で教鞭をとりながら制作を続け、現在は山形市にある東北芸術工科大学の准教授をつとめています。2009年にはVOCA賞を、2012年「第5回日経日本画大賞」で選考委員特別賞を受賞するなど、近年とくに注目を集める日本画家です。

その作品は、墨を主体とする日本画の素材と手法を用い、和紙の断片をコラージュ風に継ぎ足していくという制作方法を特徴としています。モチーフに空想の産物・現実の自然・伝統的に描かれてきた景物など様々なイメージを取り込み、ときに幅10メートル以上に及ぶダイナミックな画面をつくりあげます。また、自らの住む場所とその歴史、自身の記憶などと不可分に結びついたテーマで作品を描いてきました。

三瀬は、奈良からみる日本、山形で描く日本画というように、時代や地域、見る人により、日本画のあり方は変わるはずだと考えています。そうした「日本」や「日本画」の多様性を、複雑なままに画面に定着させようとする作家の試みを「日本の絵」と題して展示しました。

#### 関連事業

作家との対談

日時：7月13日(土)14:00～15:00

講師：三瀬夏之介氏×小金沢智氏(世田谷美術館 学芸員)

参加者数：50人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

### 作家との対談

日時：9月7日(土)14:00~15:00

講師：三瀬夏之介氏 × 内藤正敏氏（写真家・民俗学者）

参加者数：60人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

### アーティストトーク

日時：7月20日(土)14:00~15:00

講師：三瀬夏之介氏

参加者数：60人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

### ワークショップ「水墨でマンガにチャレンジ!!」

日時：7月21日(日)13:30~16:30

講師：三瀬夏之介氏

対象・人数：中学生~一般・20名

参加者数：20人

場所：アトリエ 要申込

### 展覧会図録『三瀬夏之介 日本の絵』

発行月：2013年7月

価格：2,800円

体裁：A4版、112頁

著者：三瀬夏之介

内容：「日本・列島・画 三瀬夏之介の「奇景」をめぐって」榎木野衣 / 「三瀬夏之介論のためのメモとして」赤坂憲雄 / 「『日本の絵』のための対談」三瀬夏之介 × 草薙奈津子 / 作品解説 江口恒明 / 作品リスト / 略歴 / 主要参考文献

発行：青幻舎

### 出品作品リスト

No.	作品名	制作年	材質	寸法(cm)	所蔵
1	日本の絵	2005	雲肌麻紙、美濃紙、茶墨、青墨、胡粉、アクリル、金箔	250 × 650	
2	千歳	2009	雲肌麻紙、白麻紙、青墨、胡粉	300 × 365	
3	日本の絵 ~ 沈める寺 ~	2013	雲肌麻紙、土佐麻紙、白麻紙、青墨、胡粉、顔料、金箔、印刷物	362 × 558	
4	山水	2008	雲肌麻紙、鳥の子紙、青墨、胡粉	167 × 185	
5	ぼくの神さま	2013	雲肌麻紙、白麻紙、青墨、胡粉、金箔、アクリル、ハトメ、印刷物	346 × 679	
6	ぼくの神さま	2013	雲肌麻紙、白麻紙、青墨、胡粉、金箔、アクリル、ハトメ、印刷物	347.5 × 854	
7	日本の絵 ~ 笑月 ~	2013	雲肌麻紙、白麻紙、薄美濃紙、青墨、茶墨、胡粉、アクリル、印刷物、金属粉、金箔、アルミ箔	363 × 740	
8	日本の絵 ~ ハヨピラ ~	2013	雲肌麻紙、青墨、胡粉、印刷物、アクリル	348.4 × 717.5	
9	空虚五度	2012	雲肌麻紙、青墨、蝶番、パネル	270 × 1456	

No.	作品名	制作年	材質	寸法(cm)	所蔵
10	権現	2010	雲肌麻紙、青墨、胡粉、顔料、屏風	182 × 272	
11	奇景	2003-2010	雲肌麻紙、鳥の子紙、薄美濃紙、あかし紙、アクリル、金属粉、印刷物、青墨、茶墨、染料、顔料、アルミ箔、油絵具、岩絵具、木材	155 × 4487.6	
12	Heterophony	2010	雲肌麻紙、青墨、胡粉、アクリル、金属粉、インクジェットプリント、アルミ箔、屏風	167 × 169	
13	肘折幻想	2009	雲肌麻紙、青墨、胡粉、顔料	162 × 845	
14	アトリエ再現				
15	日本の絵 ～小盆地宇宙～	2013	雲肌和紙、青墨、胡粉、金箔、アクリル、ハトメ	337.6 × 484	
16	黙考	2013	雲肌麻紙、青墨、胡粉	19 × 28	
17	雪ごもり	2013	雲肌麻紙、青墨、胡粉	8 × 28	
18	虚心	2013	雲肌麻紙、青墨、胡粉	20 × 26	
19	竣介	2013	雲肌麻紙、青墨、胡粉、金箔、アクリル	15 × 10	
20	エディプスの子	2011	雲肌麻紙、青墨、胡粉	272 × 360	東京ステーションギャラリー
21	だから僕はこの一瞬を永遠のものにしてみせる	2010	雲肌麻紙、薄美濃紙、青墨、茶墨、胡粉、アクリル、印刷物、金属粉、岩絵具、アルミ箔、蝶番、パネル	272 × 1456	
22	ぼくの神さま	2010	雲肌麻紙、白麻紙、金箔、青墨、胡粉、金属粉、アクリル、木材、印刷物、パネル	157.2 × 124	
23	日本の絵	2005	和紙、金箔、墨、胡粉、アクリル絵具、金属粉	200 × 200	文化庁
24	My God	2011	雲肌麻紙、白麻紙、金箔、青墨、胡粉、金属粉、アクリル、木材、印刷物、パネル	140 × 108	
25	シナプスの恋人	1997	顔料、岩絵具、金箔、蝶番、カンヴァス	274 × 194	東京ステーションギャラリー

## 4 はじめての美術 絵本原画の世界 2013

種別	企画展
会期	7月27日(土)～9月8日(日)
主催	平塚市美術館 NHK横浜放送局 NHKプロモーション
協力	福音館書店
特別協力	宮城県美術館
協賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30-18:00(入場は-17:30) 会期中開館時間を1時間延長
休館日	月曜日
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	38日
入場者数	26,694人
担当	勝山滋(当館学芸員)、安部沙耶香(当館学芸員)



堀文子《ピップとちょうちょう》1956年



山脇百合子《ぐりとぐらのうたうた12つ  
き》2003年



佐藤忠良《おおきなかぶ》1962年

### 内容

月刊「こどものとも」の絵本を中心に、1950年代から2000年代にわたり出版された絵本について、鮮やかな原画の数々を展示しました。

1956年に福音館書店から創刊された「こどものとも」は、戦後復興の気運を背景に、子どもの立場にたって、その想像力を喚起する絵本作りを目指しました。横長の版型や一冊一話完結型の物語絵本というように、当時としては新しいスタイルを次々と試みます。また芸術家に作品の依頼をすることで、「子どもがはじめて出会う美術」と言ってふさわしい絵本が誕生していきました。創刊号『ピップとちょうちょう』(1956年)を手がけたのは、現在も活動を続ける日本画家の堀文子であり、彫刻家・佐藤忠良が描いた『おおきなかぶ』は、世代を超えて読み継がれるロングセラー絵本となっています。この他にも、『ぐりとぐら』(山脇百合子)のシリーズや、『おしゃべりなたまごやき』(長新太)、『いちごばたけのちいさなおばあさん』(中谷千代子)、『はじめてのおつかい』(林明子)など、人気の高い26作家・44冊の絵本の原画約300点を展示しました。

長い歴史をもつ同社の絵本原画は幅広い世代が共感できるものであり、会期中「三世代割引」の実施を行いました。会期中歴代4番目の入場者数となる多くの来館者に恵まれました。

### 関連事業

当館学芸員によるギャラリートーク

日時：7月28日(日)、8月31日(土)14:00～14:40

参加者数：7月28日 60人、8月31日 70人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

図書ボランティア対象ギャラリートーク

日時：8月1日(木)

講師：当館学芸員

内容：図書館と連携して、図書ボランティアを対象に絵本原画展の展示解説を行いました。

参加者：41人

場所：展示室 要申込

夏休みに美術館・博物館・図書館をめぐる！スタンプラリー

実施期間：7月27日(土)～9月8日(日) 平塚市美術館「はじめての美術 絵本原画の世界2013」開催期間中。

出品作品リスト

	作者名	作品名	刊行年月	著者	初出	出版社
1-1～6	秋野不矩	うらしまたろう	1972年11月	時田史郎・再話	「こどものとも」200号記念増刊号	福音館書店
2-1～4	池田龍雄	三びきのやぎのがらがらどん	1959年5月	瀬田貞二・訳	「こどものとも」38号	福音館書店
3-1～8	太田大八	どうぶつたちのおかいもの	1976年5月	渡辺茂男・作	「こどものとも」242号	福音館書店
4-1～16	太田大八	だいちゃんとうみ	1979年8月	太田大八・作	「こどものとも」281号	福音館書店
5-1～7	小野かおる	われたたまご	1972年8月	フィリピン民話/ 小野かおる・再話	「こどものとも」197号	福音館書店
6-1～8	小野かおる	はなかげこぶた	1982年12月	小野かおる・作	「普及版こどものとも」	福音館書店
7-1～6	小野木学	たらばがにの はる	1970年3月	安藤美紀夫・作	「こどものとも」168号	福音館書店
8-1～4	桂 ゆき	ぴちこちゃんのけっこん	1971年3月	ベラ・ヘルド・原作/ 木島 始・文	「こどものとも」180号	福音館書店
9-1～15	小出保子	とんとん とめてくださいな	1981年9月	小出 淡・文	「福音館のペーパーバック絵本」	福音館書店
10-1～14	佐藤忠良	おおきなかぶ	1962年5月	内田莉沙子・訳	「こどものとも」74号	福音館書店
11-1～3	佐藤忠良	三びきのこぶた	1966年12月	ミハルコフ・作/ 内田莉沙子・文	「世界おはなし絵本」7	偕成社
12-1～6	関野準一郎	うしかたとやまうば	1972年1月	瀬田貞二・再話	「こどものとも」191号	福音館書店
13-1～6	田島征三	ふるやのもり	1965年1月	瀬田貞二・再話	「こどものとも」106号	福音館書店
14-1～6	長 新太	がんばれ さるのさらんくん	1958年3月	中川正文・作	「こどものとも」24号	福音館書店
15-1～6	長 新太	おしゃべりなたまごやき	1972年12月	寺村輝夫・作	「日本傑作絵本シリーズ」	福音館書店
16-1～10	長 新太	ごろごろ にゃーん	1976年1月	長 新太・作	「こどものとも」238号	福音館書店
17-1～4	長 新太	どろにんげん	1997年11月	長 新太・作	「こどものとも」500号	福音館書店

	作者名	作品名	刊行年月	著者	初出	出版社
18-1 ~4	寺島龍一	なんきょくへいつたしろ	1956年 8月	瀬田貞二・作	「こどものとも」5号	福音館書店
19-1 ~6	富山妙子	クリスマスのほし	1964年 12月	上沢謙二・案	「こどものとも」105号	福音館書店
20-1 ~4	中谷千代子	ジオジオのかんむり	1960年 7月	岸田衞子・作	「こどものとも」52号	福音館書店
21-1 ~10	中谷千代子	いちごばたけのちいさなおばあさん	1973年 5月	わたりむつこ・作	「こどものとも」206号	福音館書店
22-1 ~10	なかのひろたか	ちょうちんあんこう	1966年 9月	なかのひろたか・作	「こどものとも」126号	福音館書店
23-1 ~10	なかのひろたか	ぞうくんのさんぼ	1968年 6月	なかのひろたか・作	「こどものとも」147号	福音館書店
24-1 ~8	林 明子	はじめてのおつかい	1976年 3月	筒井頼子・作	「こどものとも」240号	福音館書店
25-1 ~6	林 明子	おふるだいすき	1982年 4月	松岡享子・作	「日本傑作絵本シリーズ」	福音館書店
26-1 ~9	林 明子	こんとあき	1989年 6月	林 明子・作	「日本傑作絵本シリーズ」	福音館書店
27-1 ~6	稗田一穂	しらすぎのくるむら	1958年 10月	いぬいとみこ・作	「こどものとも」31号	福音館書店
28-1 ~6	土方久功	ぶたぶたくんのおかいもの	1970年 10月	土方久功・作	「こどものとも」175号	福音館書店
29-1 ~4	土方久功	おによりつよいおれまーい	1975年 7月	サトワヌ島民話/ 土方久功・再話	「こどものとも」232号	福音館書店
30-1 ~6	堀 文子	ビップとちょうちよう	1956年 4月	与田準一・作	「こどものとも」1号	福音館書店
31-1 ~4	堀 文子	はなとあそんできたふみこちゃん	1958年 4月	与田準一・作	「こどものとも」25号	福音館書店
32-1 ~6	水四澄子	いねになったてんによ	1968年 10月	インドネシア民話/ 君島久子・再話	「こどものとも」151号	福音館書店
33-1 ~14	村山知義	おなかのかわ(註1)	1975年 2月	瀬田貞二・再話	「普及版こどものとも」	福音館書店
34-1 ~12	矢吹申彦	きょうりゅうがすわっていた	2000年 12月	市川宣子・作	「こどものとも」537号	福音館書店
35-1 ~4	山中春雄	べにろいやるのおにたいじ	1957年 6月	ジョー・ダン・著/ 吉田甲子太郎・訳	「こどものとも」15号	福音館書店
36-1 ~14	山本忠敬	しょうぼうじどうしゃ じぶた	1963年 10月	渡辺茂男・作	「こどものとも」91号	福音館書店
37-1 ~4	山本忠敬	のろまなローラー(註2)	1965年 8月	小出正吾・作	「こどものとも」113号	福音館書店
38-1 ~6	山本忠敬	でんしゃがはしる	1978年 6月	山本忠敬・作	「こどものとも」267号	福音館書店
39-1 ~14	大村(山脇)百合子	ぐりとぐら	1963年 12月	中川李枝子・作	「こどものとも」93号	福音館書店
40-1 ~14	大村(山脇)百合子	そらいろのたね	1964年 4月	中川李枝子・文	「こどものとも」97号	福音館書店

	作者名	作品名	刊行年月	著者	初出	出版社
41-1 ~5	山脇百合子	あひるのパーパちゃん	1974年 10月	神沢利子・作	「創作こども文庫」2	偕成社
42-1 ~6	山脇百合子	ぐりとぐらのうた うた12つき	2003年 10月	中川李枝子・文	「日本傑作絵本シリーズ」	福音館書店

## 5 藤山貴司展 - 闇と光の交錯 その彷徨と回顧 -

種別	特集展
会期	9月21日(土)～12月1日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30)
休館日	月曜日(ただし9月23日(月・祝)、10月14日(月・祝)、11月4日(月・振)は開館、9月24日(火)、10月15日(火)日は休館)
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	63日
入場者数	7,575人
担当	勝山滋(当館学芸員)



《流出する子供たち》 1996年

### 内容

没後5年となる藤山貴司(ふじやまたかし 1950 - 2008)の初の回顧展を開催しました。生前から没後にかけて、連年個展も開催してきましたが、本展は生涯の作品の全貌を追う初めての展示となります。

藤山貴司は、1950年長崎県生まれ。創形美術学校を経てパリ国立美術学校に入学。サロン・ドートンヌ、サロン・ド・メ展に出品。帰国後は座間市に住み、神奈川をはじめ東京、長崎で個展を開催。幅広い素材を縦横に駆使し、平面と立体を行き来する造形は、やがてパフォーマンスやインスタレーションへと展開し、1985年以降モノレール大船駅をアトリエとした活動を進めます。1989年以降、白州夏フェスティバルにインスタレーション作品を発表するほか、90年代には、画面にウサギや人体、食器や果実を暗示的に描き、世界の言語をあらゆるアルファベットを重ねた作品に普遍性のある世界観を表現しています。また創形美術学校校長として美術教育にも積極的にかかわりました。

本展では、初期から晩年にいたる代表作約50点により、藤山貴司のスケールの大きな世界観を紹介することができました。



## 関連事業

当館学芸員によるギャラリートーク

開催日：10月20日(日)、11月3日(日)、11月17日(日) 各回 14:00 ~ 14:30

参加者数：10月20日 10人、11月3日 12人、11月17日 14人

場所：展示室 要観覧券

フジヤマタカシ・メモリアル・アンサンブル

開催日：11月28日(木) 15:00~15:30

内容：藤山貴司をしのぶ四重奏コンサート

参加者数：50人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

ワークショップ「解体から造形へ」

開催日：11月30日(土) 13:30 ~ 16:30

講師：藤山麻美氏(藤山貴司夫人・画家、ART FORUM 総合 COLLEGE 代表)

参加者数：23人

場所：アトリエおよび展示室 要申込

## 出品作品リスト

	作品名	制作年	素材技法	寸法(縦×横、cm)	所蔵
1	重なったキャベツ畑	1978年	布に油彩	132.0×162.0	
2	視つめられる物と触れる物のゆらぎ	1982年	ウレタン・シルク・流木(16面)	各 37.0×48.0	
3	パランプセプト	2004年	キャンパスに油彩	190.0×231.0	
4	Prana et Psyche(再現写真、壺)	1987年	鉛		
5	くり返す事と積み重ねる事 (再現写真、クワ)	1992年	木・鉄		
6	触景・船 梯子の森(再現写真、梯子)	1989年	木		
7	梯子の森・休日(再現写真、オール)	1990年	木		
8	untitledシリーズ	1990-94年	パネルにコラージュ/ドローイング、オブジェ(12点)	50×40前後	
(シリーズ内容)untitled/untitled/ 視えない距離/視えなくなるものと視えにくくなるもの/BINDER・PLANOGRAPHY/untitled/untitled/untitled/untitled/untitled/untitled/untitled					
9	三本のノアの木	1996年	ワトソン紙に木炭・水彩	223.5×339.0	当館蔵
10	流出する子供達	1996年	ワトソン紙に木炭	113.0×490.0	当館蔵
11	流出する子供達・ファミリーガーデン	1996年	ワグマン紙に木炭	250.0×270.0	当館蔵
12	流出する子供達	1996年	ワグマン紙に木炭・コンテ	194.0×500.0	当館蔵
13	LA TOUR になる為の・NAGASAKI TREE	1996年	紙にアクリル・木炭	265.0×504.0	当館蔵
14	壺抜けうさぎ・言葉によって語られるものと数字で語ること	1998年	紙にニカワ・木炭・アクリル	144.0×222.0	当館蔵
15	根ぐされ言語は水瓶の	1998年	紙に木炭・コンテ・土・顔料	148.0×247.0	

	作品名	制作年	素材技法	寸法(縦×横、cm)	所蔵
	底に隠される				
16	流出する子供達・足雨	1996年	ワトソン紙に木炭	113.0×250.0	
17	盲目うさぎは舌で世界を知覚する	1998年	紙に木炭・コンテ・アクリル・顔料	150.0×200.0	当館蔵
18	流出する子供達・笹舟	1996年	ワーグマン紙に木炭	201.0×503.0	
19	メロンと洋梨と 14 個の壺の世界	1995年	ワトソン紙に木炭	113.0×461.0	
20	盲目うさぎは舌で世界を知覚する	1999年	綿布にニカワ・木炭・土・コンテ・アクリル・キャンバス	180.0×230.0	
21	Mariage Le 7er juillet 1998	1998年	水彩紙に木炭・アクリル	79.0×54.5	
22	根ぐされ言語は水瓶の底に隠される	1999年	綿布・油彩・キャンバス	194.0×306.0	
23	流出する子供達・髪壺	1996年	ワトソン紙に木炭	219.0×284.5	
24	西に向かって排泄する	1996年	ワトソン紙に木炭・コンテ	223.0×250.0	
25	Mariage Le 4 Aout	1998年	紙に木炭・コンテ	111.0×150.0	
26	大いなる娘の為に	1998年	紙に木炭・コンテ・顔料	57.0×76.0	
27	手さぐりの風景	1998年	紙に木炭・顔料・土・アクリル	76.5×57.0	
28	二匹のうさぎ	2005年	綿布に油彩	66.0×81.0	
29	小立体シリーズ	2008年	鉄・ガラス・鉛・紙ほか		
30	眼なしうさぎの行進・セフィロト	2007年	油彩・キャンバス	232.0×569.0	

## 6 友好都市提携記念特別展

伊豆市コレクションによる 天才たちの若き日 - 横山大観から速水御舟まで -

種別	企画展
会期	10月12日(土)～11月24日(日)
主催	平塚市美術館
特別協力	伊豆市
協賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30)
休館日	月曜日(ただし10月14日(月・祝)、11月4日(月・振)は開館、10月15日(火)は休館)
観覧料	一般800円、高大生500円
開催日数	39日
入場者数	7,600人
担当	江口恒明(当館学芸員)



安田鞞彦《吉野訣別》1899年



速水御舟《手向》1913年

### 内容

伊豆市所蔵の日本画コレクションの中心は、修善寺温泉の旅館「新井」の三代目主人・相原寛太郎(沐芳)氏によって収集されたものです。石井鼎湖に日本画を学んだ相原氏は、東京で勉学を修め、家業を継ぎますが、美術への関心捨てがたく、横山大観ら多くの日本画家と交友。さらに、若い日本画家たちを積極的に支援した人物として知られています。

また、彼が支援したのは明治末から大正にかけてで、のちに再興日本美術院で中核をなす俊英たち 今村紫紅・小林古径・安田鞞彦・前田青邨・速水御舟など でした。中でも安田鞞彦との関わりは強く、病氣療養のため修善寺で暮らした明治40年頃に始まり、鞞彦を通じて様々な画家と親交を深めていったのです。

コレクションの特徴は、いまだ作風が確立する前の作品が多い点にあります。模索の時期にあった作品は、各作家からイメージする画風とは異なる点もあります。しかし、のちに大成する画家の若き日の作品は、将来を予感させる精巧なテクニックと迫力あるエネルギーに満ち、大変魅力に富むものです。

紫紅や鞞彦、青邨は、後年小田原や大磯、鎌倉など湘南地域に居をかまえ、平塚市美術館にとってもゆかりの作家です。両市の友好都市提携の記念として、近代日本画を代表する作家たちを紹介しました。

### 関連事業

講演会 「天才たちの若き日」

講師：草薙奈津子(当館館長)

日時：10月27日(日)14:00～15:30

参加者数：80人

場所：ミュージアムホール 申込不要、先着順

学芸員によるギャラリートーク

日時：10月19日(土)、11月10日(日) 各回14:00~14:40

参加者数：10月19日 32人、11月10日 35人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

## 出品作品リスト

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	形状	寸法(cm)
1	小堀鞆音	鷹狩	明治末	絹本着色	軸	27.2×19.9
2	安田靉彦	吉野訣別	明治32年	紙本着色	軸	173.5×93.0
3	小林古径	箏三線	明治42年	絹本着色	軸	各 120.0×40.5
4	今村紫紅	鴛鴦	明治42年頃	絹本着色	軸	112.4×41.5
5	菱田春草	秋郊帰牧	明治42年	絹本着色	軸	116.0×50.5
6	横山大観	白鷺	明治42年頃	絹本着色	軸	108.8×40.1
7	横山大観	柳陰清談	明治43年頃	絹本着色	軸	130.5×50.4
8	安田靉彦	萬古天風	昭和5年	紙本墨画淡彩	軸	64.5×96.0
9	石井林響	寒山子	明治末~大正初	絹本着色	軸	34.2×36.6
10	石井林響	波に鷓	明治40年代	紙本着色	屏風(六曲一隻)	86.2×255.2
11	石井林響	芙蓉秋水	明治40年代	絹本着色	軸	112.3×41.3
12	石井林響	松下睡布袋	明治40年代	絹本着色	軸	116.7×50.0
13	石井林響	桐陰網蟬	明治40年代	絹本着色	軸	118.5×50.1
14	石井林響	春風駘蕩	明治40年代	絹本着色	軸	126.7×71.2
15	前田青邨	春山霞男	明治末	絹本着色	軸	70.3×50.1
16	前田青邨	燈籠大臣	明治末	絹本着色	軸	165.7×86.0
17	小林古径	重盛	明治44年	絹本着色	軸	125.3×42.3
18	前田青邨	市場	明治43年頃	絹本着色	軸	132.2×49.6
19	前田青邨	後三年	大正初	絹本着色	画帖	各34.4×24.9
20	合 作	鬼ヶ島	明治末	紙本淡彩	卷子	24.9×160.0
21	前田青邨	騎馬武者	明治末	絹本着色	額	41.2×114.8
22	前田青邨	鷄合	明治43年	紙本着色	屏風(六曲一隻)	97.8×228.4
23	広瀬長江	不破	明治末~大正初	絹本金地着色	額	54.8×30.6
24	広瀬長江	若衆と娘	明治末~大正初	絹本金地着色	額	75.0×41.4
25	広瀬長江	観桜	明治末	絹本着色	軸	113.1×42.0
26	広瀬長江	藤娘	明治末~大正初	絹本着色	軸	104.3×36.4
27	広瀬長江	奴の小萬	明治43年頃	絹本着色	軸	110.9×32.7
28	広瀬長江	妓女	明治末~大正初	絹本銀地着色	屏風(六曲一双)	各98.0×251.0
29	今村紫紅	孫悟空	大正元年頃	絹本着色	軸	33.7×25.2
30	今村紫紅	秋江晚鴉	大正元年頃	絹本着色	軸	126.6×41.1
31	今村紫紅	霜林群雀	大正元年頃	紙本墨画淡彩	軸	137.3×55.5
32	今村紫紅	鷺	大正4年頃	紙本墨画	軸	178.5×96.8
33	今村紫紅	枇杷叭叭鳥	大正元年頃	紙本着色	屏風(六曲一双)	各151.0×325.4

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	形状	寸法(cm)
34	小林古径	梅	大正6年	紙本金泥	軸	105.8×47.4
35	小林古径	萬翠	大正7年	絹本着色	軸	134.1×50.2
36	安田靫彦	拈華微笑	明治44年	絹本着色	軸	113.4×43.4
37	安田靫彦	十六羅漢	明治44年頃	絹本着色	軸	111.5×42.4
38	速水御舟	手向	大正2年	絹本着色	軸	115.9×41.1
39	安田靫彦	上宮太子	大正元年頃	絹本着色	軸	126.9×51.1
40	安田靫彦	六歌仙	明治44年頃	絹本着色	軸	109.5×41.5
41	安田靫彦	大原御幸	明治44年頃	絹本着色	軸	115.7×41.9
42	横山大観	松竹遊禽	大正元年頃	紙本金地着色	屏風(六曲一双)	各163.2×327.6
43	横山大観	叭叭鳥	大正6年	絹本墨画	軸	139.0×51.2
44	合 作	東海道	大正4年	紙本着色	軸(四幅対)	各138.4×30.6
45	横山大観	山上の家	昭和5年頃	紙本墨画	軸	53.8×129.8
46	小山大月	小松	大正後期	絹本着色	軸	27.2×28.5
47	黒田古郷	備後鞆津写生	大正後期	紙本着色	軸	18.0×20.9
48	安田靫彦	うさぎ	大正4年	紙本墨画淡彩	軸	47.8×34.6
49	安田靫彦	狗子	大正元~4年	紙本淡彩	軸	35.2×44.7
50	小林古径	伊勢物語	大正4年	紙本着色	画帖	各25.6×31.3
51	安田靫彦	龍	昭和3年	紙本墨画	軸	56.9×72.0
52	安田靫彦	牛	大正14年	紙本墨画	軸	46.7×56.3
53	安田靫彦	暗香	大正10年頃	紙本墨画金泥	軸	45.5×31.6
54	安田靫彦	春暁	昭和5年頃	紙本墨画淡彩	軸	45.0×63.0
55	安田靫彦	鴨川夜情	昭和9年頃	紙本着色	軸	86.0×119.4
56	安田靫彦	忠度訪俊成	大正5年頃	絹本着色	軸	127.4×42.7
57	安田靫彦	頼政	昭和20年代	絹本着色	軸	41.1×50.8
58	安田靫彦	つくし画賛	大正13年頃	紙本墨画淡彩	軸	37.7×51.3
59	安田靫彦	水仙	昭和4年	絹本着色	軸	41.8×56.7
60	川端龍子	しいたけ	不詳	紙本墨画淡彩	額	87.8×68.5
61	川端龍子	湯浴(湯治)	昭和2年	絹本着色	額	112.0×139.5
62	川端龍子	修善寺城山公園 よりの展望	不詳	紙本着色	額	37.4×49.0
63	加藤洵綾	柿	昭和9年	紙本着色	屏風(六曲一隻)	175.3×396.0
64	新井勝利	葡萄	昭和5年	紙本着色	屏風(六曲一隻)	171.0×353.4
65	横山大観	村田一郎宛書状	昭和5年1月21日		書簡	19.8×63.0
66	小林茂	村田一郎宛書状	大正3年1月15日		葉書	14.0×9.0
67	小林茂	村田一郎宛書状	大正3年5月7日		書簡	17.5×159
68	安田新三郎	村田一郎宛書状	大正4年8月3日		葉書	14.0×9.0
69	安田靫彦	村田一郎宛書状	不詳		書簡	各25.0×17.8
70	横山大観・ 下村観山・ 今村紫紅・ 小杉未醒	村田一郎・川上五郎宛書状	大正4年4月2日		葉書	8.7×13.9
71	安田靫彦・ 前田青邨	渡辺健次宛書状	1910年5月20日		葉書	9.0×14.1

## 7 ロビー展 - 林辺正子の世界 -

種 別	特集展
会 期	12月3日(火)～平成26年4月6日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30-17:00
休館日	月曜日、12/29(日)～1/3(金)(ただし、12月23日(月・祝)、1月13日(月・祝)は開館、翌火曜日は休館)
観覧料	無料 無料スペース展示
開催日数	104日
入場者数	729人
担 当	勝山滋 (当館学芸員)



林辺正子 (EGG BOX) 2000年



林辺正子 (Transudation 浸出) 1994年

### 内容

2007年から美術館2階テーマホールを利用したロビー展を開催しており、今回は織物作家・造形作家である林辺正子の所蔵作品13点に加え、大作《文節と総合 SYNECDOCHE》、織物作家としての側面を感じさせる《untitle》(ともに個人蔵)を借用し、全15点を展示しています。

### 出品リスト

No	作品名	制作年	材質	所蔵
1	Transudation 浸出	1994年	和紙、鉄	当館蔵
2	Transillumination 透照	1994年	ナイロン糸、鉄	当館蔵
3	備忘録 Memorabilia	1994年	粘土、胡粉	当館蔵
4	楕円の回転体	1996年	鉄	当館蔵
5	文節と総合 SYNECDOCHE	1997年	布、木、鉄	
6	Jardin Clos 2	1999年	石膏粘土	当館蔵
7	Jardin Clos 4	1999年	石膏粘土、鉛	当館蔵
8	untitle	1999年	絹糸、布、木	
9	The Father of the mother of pearls	2000年	貝殻、粘土、木	当館蔵
10	Egg Box	2000年	卵殻、粘土、木	当館蔵
11	楕円の断続	2000年	鉄	当館蔵
12	レリーフ (レンガ状)	2002年	鉛、木	当館蔵
13	レリーフ (あかめ)	2002年	鉛、木	当館蔵
14	レリーフ	2002年	鉛、木	当館蔵
15	レリーフ	2002年	石膏、木	当館蔵

## 8 所蔵名品展 - 美術館で遊ぼう!! -

種別	特集展
会期	12月7日(土)～平成26年2月9日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30)
休館日	月曜日、12月29日(日)～1月3日(金) (ただし、12月23日(月・祝)、1月13日(月・祝)は開館、翌火曜は休館)
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	51日
入場者数	2,215人
担当	安部沙耶香(当館学芸員)



海老原喜之助《曲馬》



工藤甲人《蝶の階段》



萬鉄五郎《茅ヶ崎風景(海岸風景)》

### 内容

平塚市美術館の所蔵品を使ったアートカードの作成に関連して、アートカードに載っている作品を展示し、アートカードゲームを楽しみながら、美術作品に親しんでもらう展覧会でした。

### 関連事業

#### ワークショップ「親子で遊ぼう!!アートカードゲーム」

日時：12月14日(土)10:00-11:30

対象：親子(小学生) 定員 10組 20名 材料費：無料

参加者数：10人

場所：アトリエ 要申込

#### 担当学芸員によるギャラリートーク

日時：1月11日(土) 14:00-14:30

参加者数：6人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

#### 先生のための美術鑑賞広場～アートカード活用講座～

日時：2月8日(土) 10:00-12:00

対象：小・中・高・特別支援学校の教職員 材料費：無料

場所：アトリエ、展示室 要申込

大雪のため中止となりました

## 出品作品リスト

	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法
1	岸田劉生	Aの肖像	1913年	油彩・キャンバス	45.5×37.9
2	椿貞雄	菊子座像	1922年	油彩・キャンバス	60.8×45.5
3	萬鉄五郎	宙腰の人	1924年	油彩・キャンバス	41.0×27.0
4	萬鉄五郎	茅ヶ崎風景(海岸風景)	1924年	油彩・キャンバス	43.5×59.5
5	鳥海青児	メキシコの西瓜(メキシコ風の西瓜)	1961年	油彩・キャンバス	61.2×72.6
6	鳥海青児	ピカドール	1958年	油彩・キャンバス	91.2×61.0
7	海老原喜之助	曲馬	1930年頃	油彩・キャンバス	72.8×100.2
8	里見勝蔵	イビサの田野	1961年	油彩・キャンバス	80.3×100.1
9	青山義雄	パラアーチ	1990年	油彩・キャンバス	64.8×81.0
10	中村琢二	南伊豆	1984年	油彩・キャンバス	70.5×161.9
11	井上三綱	風の中の牛	1966年	墨、紙片・紙	173.2×367.3
12	松尾敏男	コンコルドの風	2005年	彩色・紙	171.1×363.6
13	近藤弘明	幻光 - 御感の藤 -	1987年	彩色、金・紙	164.9×300.1
14	中村貞以	螢	昭和時代	彩色・絹	127.4×41.7
15	今村紫紅	水汲む女・牛飼う男	1914年	彩色・紙	各 137.0×33.2
16	横山大観	不盡之高嶺	1915年	彩色・絹	168.0×81.0
17	安田靉彦	日食	1925年	彩色・紙	83.2×116.4
18	小出檜重	めでたき風景	1926年	墨、彩色・紙	44.0×73.0
19	松本節	ひまわりと雲	1937年	油彩・キャンバス	65.0×91.0
20	堀文子	早苗の頃	1983年	彩色・紙	138.0×220.0
21	伊藤彬	夢の入口	1987年	彩色・紙	80.0×64.0
22	井上三綱	駆けだした牛	1956年	油彩、墨、弁柄、胡粉・キャンバス	89.2×130.7
23	工藤甲人	蝶の階段	1967年	彩色・紙	135.7×190.9
24	山本直彰	帰還	2009年	彩色・紙	363.6×333.3
25	朝井閑右衛門	悪霊と道化	1972年	油彩・紙	66.5×78.7
26	三岸節子	インカの壺(太陽讃歌)	1968年	油彩・キャンバス	72.8×91.2
27	島田章三	室内景	1998年	油彩、コラージュ・合板	145.5×112.1
28	井上長三郎	群像	1964年	油彩・キャンバス	130.5×162.0
29	山下大五郎	早春	1941年	油彩・キャンバス	116.7×91.2
30	高良眞木	丘の径 百日草	1957年頃	油彩・キャンバス	60.7×45.5
31	川村清雄	滝	1926-34年頃	油彩・キャンバス	198.0×73.0
32	河野通勢	裾花川風景	1914年	油彩・キャンバス	45.4×60.8
33	菅野陽	無重力	1960年	銅版・紙	39.0×45.9
34	渡辺千尋	奇妙な来客	1978年	エングレーヴィング・紙	28.0×18.0
35	北澤映月	女人卍	1972年	彩色・紙	184.1×152.7
36	石井礼子	私の周囲(忙しい日)	2002年	墨・紙	211.5×153.0
37	田澤茂	太陽の街	1968年	油彩、インク・キャンバス	194.0×259.0
38	嶋剛	SHONAN2	1988年	アクリル・キャンバス	182.0×227.0
39	平野杏子	善財南へ行く	1974年	油彩・キャンバス	1940×130.3
40	小関利雄	動物日記 水泳大会	1984年	油彩・キャンバス	91.2×117.0
41	久野和洋	筍二個と水差し	2008年	油彩・キャンバス	65.2×91.0
42	湯原和夫	作品 No. 2-05	2005年	シリコン、ガラス	27.0 × 24.5 × 22.0
43	横田七郎	めざし	1928年	木	2.0×15.7×3.0



## 9 所蔵名品展 - 新収蔵品を中心に -

種別	特集展
会期	平成26年2月22日(土)～4月6日(日)
主催	平塚市美術館
開館時間	9:30-17:00(入場は-16:30)
休館日	月曜日
観覧料	一般200円、高大生100円
開催日数	38日
入場者数	1,257人
担当	安部沙耶香(当館学芸員)



石川響《渚の祈り》



木下晋《祈りの塔》



工藤甲人《残蝶》

### 内容

2012年度に新たに美術館のコレクションとなった新収蔵品をご紹介します。

日本画、油彩画、デッサン、版画などバラエティに富んだ新収蔵作品 207 点の中から 46 点を展示いたします。

日本画を見ると工藤甲人《残蝶》があります。約 50 年間平塚市に在住していた工藤は幻想的な世界を描くことで知られる平塚ゆかりの作家です。また、ニューヨークを中心に活躍する千住博の珍しい初期作品があります。

次に油彩画をみると、日本を代表する洋画家のひとりで平塚出身の鳥海青児の初期作品《樹木》、抽象的な表現の中に東洋的な感性を感じさせる勝呂忠《帯状の雲》があります。また、2012年、当館で開催した木下晋は大画面に鉛筆のみで対象を描き出し、その迫真的な写実力で見つるものを圧倒します。河野通勢のデッサンは初期の優品が多く、うねるように描かれた風景や克明に描写された自画像などがあります。

次に版画をみると、1ミリの間に数十本の線を引くことのできるピュランという道具で細密に彫られた渡辺千尋《夢卵》などがあります。

そのほか、日本画家の四方田草炎、石川響、大森運夫、油彩画家の本荘起の作品など、多様な美術表現のあり方を本展によってご覧いただくことができます。

### 関連事業

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：3月8日(土)、4月5日(土) 各回 14:00-14:30

参加者数：3月8日 4人、4月5日 5人

場所：展示室 申込不要、要観覧券

## 出品作品リスト

	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法
1	渡辺千尋	夢卵	1978年	エングレーヴィング・紙	28.0×20.7
2	渡辺千尋	象の風景-Mダム地区	1979年	エングレーヴィング・紙	20.8×30.0
3	渡辺千尋	柘榴 (空)	2002年	カラーメゾチント・紙	18.2×12.0
4	渡辺千尋	太古への夢	2004年	メゾチント・紙	45.0×32.0
5	渡辺千尋	長崎情景(殉教の丘から)	2005年	カラーメゾチント・紙	18.0×45.0
6	石川響	六国見山にて	1968年	パステル・紙	32.0×42.0
7	石川響	渚の祈り	1991年	パステル・紙	49.0×67.0
8	石川響	コナーラク近郊にて	不詳	パステル・紙	49.0×67.0
9	鳥海青児	樹木	1950年	油彩・キャンバス	53.0×40.9
10	本荘赳	ばらの花	不詳	油彩・キャンバス	31.8×41.0
11	本荘赳	白桔梗	不詳	彩色・紙	28.0×25.0
12	四方田草炎	岩に紅葉	1945-81年	淡彩・紙	59.2×88.2
13	勝呂忠	作品NO.5	1963年	油彩・キャンバス	194.0×97.0
14	勝呂忠	或る記憶の景	1991年	油彩・キャンバス	162.0×520.0
15	勝呂忠	帯状の雲	1987年	油彩・キャンバス	130.0×162.0
16	大森運夫	キリスト伝	1996年	彩色・紙	91.5×186.5
17	大森運夫	聖女像	2002年	彩色・紙	194.0×112.0
18	大森運夫	エジプトへの逃避	2004年	彩色・紙	131.0×162.0
19	木下晋	休息	2010年	鉛筆・ケント紙	73.0×103.0
20	木下晋	祈りの塔	2011年	鉛筆・ケント紙	230.0×125.0
21	木下晋	無心	2012年	鉛筆・ケント紙	229.5×125.3
22	木下晋	鮭	1993年	鉛筆・ケント紙	100.0×190.0
23	千住博	大和心象	1980年代後半	彩色・紙	139.2×271.0
24	工藤甲人	残蝶	2001年	彩色・紙	116.7×90.9
25	工藤甲人	海のおとしご	2005年	彩色・紙	116.7×80.3
26	工藤甲人	春の序幕	2008年	彩色・紙	90.9×72.7
27	工藤甲人	波の戯れ	2006年	彩色・紙	116.7×90.9
28	河野通勢	無題(風景)	不詳	木炭・紙	38.3×60.5
29	河野通勢	無題	1916年	インク・紙	38.0×29.2
30	河野通勢	無題(生活)	1915年	インク・紙	23.5×31.0
31	河野通勢	無題	不詳	インク・紙	37.9×58.5
32	河野通勢	無題	1916年	インク・紙	38.2×29.3
33	河野通勢	無題(自画像)	1916年	インク・紙	29.3×38.0
34	河野通勢	無題(自画像)	1917年	インク・紙	29.0×37.8
35	河野通勢	無題(自画像)	1917年	インク・紙	28.9×19.3
36	河野通勢	無題(自画像)	1917年	インク・紙	19.3×14.5
37	河野通勢	無題(自画像)	1917年	インク・紙	38.0×14.5
38	河野通勢	無題(自画像)	1918年	インク・紙	18.7×29.0
39	河野通勢	無題(自画像)	1918年	インク・紙	31.0×23.8
40	河野通勢	無題(自画像)	1918年	木炭・紙	31.0×23.7
41	河野通勢	無題(自画像)	1918年	木炭・紙	28.0×25.3
42	河野通勢	無題(自画像)	1918年	木炭・紙	28.5×23.8
43	河野通勢	無題(自画像)	1918年	木炭・紙	27.8×41.0
44	河野通勢	無題(自画像)	1918年	インク・紙	15.0×24.0
45	河野通勢	無題(自画像)	1918年	木炭・紙	31.0×23.2
46	河野通勢	無題(自画像)	1918年	インク・紙	24.0×15.5

# 教育普及

## 平成 25 年度実施プログラム

30 プログラムを実施し、1,252 人が参加しました。

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、安田知美(当館嘱託員)

1 体験アートセラピー 親子でパステルアート		参加者人数 19 人
日数・開催日	4月20日(土)	講師：福山恵美子さん(アートセラピスト)
対象	親子(小中学生)	内容：無心に作品をつくることで心を癒すアートセラピー 講座。
材料費	200 円	

2 遊んでのびのび 赤ちゃんアート 春コース(子育て支援プログラム)		参加者人数 47 人
日数・開催日	4月25日(木),5月16日(木),6月6日(木)連続講座	講師：富田めぐみさん(アートで子育てアドバイザー)
対象	親子(1才~2才3ヶ月)	内容：赤ちゃんは美術を通して家では出来ない体験をし、お母さんは子どもの成長と子育てに関する悩みを解消します。
材料費	500 円	

3 美術館の裏側みせます。 バックヤードツアー		参加者人数 27 人
日数・開催日	5月3日(金・祝)	講師：当館学芸員
対象	小学生～一般	内容：普段非公開の裏方スペースを紹介し、美術館の舞台裏の仕事について紹介します。
材料費	無料	

4 ~水彩画 みづゑの魅力展関連~水彩絵具で遊ぼう!!		参加者人数 11 人
日数・開催日	5月18日(土)	講師：竹中美幸さん(水彩画家)
対象	小学5年生～一般	内容：様々な水彩技法を体験し水彩絵具に親しみます。
材料費	1500 円	

5 絹谷幸二のパワー絵画塾		参加者人数 19 人
日数・開催日	5月25日(土)	講師：絹谷幸二さん(洋画家)
対象	小中学生	内容：絹谷幸二先生と色の自由な表現を楽しみます。
材料費	300 円	

6 東海大学協働事業「頭部を見て・描いて・作る～絵画から彫刻へ～」		参加者人数 11 人
日数・開催日	6月2日(日),9日(日),16日(日)連続講座	講師：河野孝博さん、滝波重人さん、仙谷朋子さん(東海大学教員)
対象	高校生～一般	内容：館内彫刻をデッサンしたのち、モデル(東海大学院生)による頭部のクロッキーを行い、塑像を完成させます。
材料費	2500 円	

7 江戸のきりがみ「もんきり」でつくる七夕かざり		参加者人数 12 人
日数・開催日	6月23日(日),29日(土),30日(日)連続講座	講師：下中菜穂さん(造形作家)
対象	中学生～一般	内容：もんきりを制作したのち、障子紙に張り込んで4mの七夕飾りをつくり、テーマホールに展示します。
材料費	1200 円	

8 遊んでのびのび 赤ちゃんアート 夏コース(子育て支援プログラム)		参加者人数 48 人
日数・開催日	7月4日(木),8月1日(木),9月5日(木)連続講座	講師：富田めぐみさん(アートで子育てアドバイザー)
対象	親子(1才~2才3ヶ月)	内容：赤ちゃんは美術を通して家では出来ない体験をし、お母さんは子どもの成長と子育てに関する悩みを解消します。
材料費	500 円	

<b>9 体験アートセラピー 親子でパステルアート～笑顔のカードを作ろう～</b>		<b>参加者人数 16人</b>
日数・開催日	7月13日(土)	講師：福山恵美子さん(アートセラピスト)
対象	親子(小中学生)	内容：笑顔のカードを作るアートセラピー講座。
材料費	200円	

<b>10 三瀬夏之介展関連 水墨でマンガにチャレンジ!!</b>		<b>参加者人数 20人</b>
日数・開催日	7月21日(日)	講師：三瀬夏之介さん(日本画家)
対象	中学生～一般	内容：水墨を使ってマンガを描きます。
材料費	200円	

<b>11 保育士による 作ってあそぼうわくわくランド(子育て支援プログラム)</b>		<b>参加者人数 141人</b>
日数・開催日	7月27日(土)	講師：市内保育園保育士の方々
対象	6才までの未就学児	内容：廃材を利用して簡単に作れるおもちゃを市内保育士と一緒に作り遊びます。
材料費	無料	

<b>12 缶バッジづくり体験ワークショップ</b>		<b>参加者人数 355人</b>
日数・開催日	8月9日(金),10日(土),11日(日)	講師：当館学芸員と中学生ボランティアスタッフ
対象	3才～一般	内容：中学生ボランティアスタッフと一緒にオリジナル缶バッジ作りを体験します。
材料費	1個50円	

<b>13 のんびりお絵かき のびのび時間</b>		<b>参加者人数 28人</b>
日数・開催日	8月18日(日) 午前の部・午後の部	講師：山中マンボウさん(アーティスト)他
対象	親子(小中学生)	内容：音楽にあわせて、思い思いの色やかたちを画用紙の上に表現します。
材料費	300円(1組600円)	

<b>14 ～夏休みアート体験～おひさま版画にチャレンジ!!</b>		<b>参加者人数 11人</b>
日数・開催日	8月23日(金)	講師：城戸宏さん(版画工房主宰)
対象	小学校3年生～高校生	内容：太陽光を使った不思議で面白い版画を作ります。
材料費	1500円	

<b>15 保育士による 作ってあそぼうわくわくランド(子育て支援プログラム)</b>		<b>参加者人数 123人</b>
日数・開催日	8月24日(土)	講師：市内保育園保育士の方々
対象	6才までの未就学児	内容：廃材を利用して簡単に作れるおもちゃを市内保育士と一緒に作り遊びます。
材料費	無料	

<b>16 Babyはいはいジャック!! 赤ちゃん絵鑑賞ツアー(子育て支援プログラム)</b>		<b>参加者人数 30人</b>
日数・開催日	8月29日(木)	講師：富田めぐみさん(アートで子育てアドバイザー)
対象	親子(1才～未就園児)	内容：保護者と赤ちゃんと一緒に展示室で絵本原画展を鑑賞します。
材料費	無料	

<b>17 元気にのびのび キッズアート(子育て支援プログラム)</b>		<b>参加者人数 47人</b>
日数・開催日	10月3日(木),11月7日(木),12月5日(木) 連続講座	講師：富田めぐみさん(アートで子育てアドバイザー)
対象	親子(2才6ヶ月～4才までの未就園児)	内容：幼児は美術を通して家では出来ない体験をし、お母さんは子どもの成長と子育てに関する悩みを解消します。
材料費	500円	

<b>18 体験アートセラピー 塗り絵でリフレッシュ</b>		<b>参加者人数 15人</b>
日数・開催日	10月5日(土)	講師：福山恵美子さん(アートセラピスト)
対象	中学生～一般	内容：美しいマンダラ模様を色鉛筆で塗り絵します。
材料費	100円	

<b>19 美術館の裏側みせます。バックヤードツアー</b>		<b>参加者人数 25人</b>
日数・開催日	11月2日(土)	講師：当館学芸員
対象	小学生～一般	内容：普段は非公開の美術館の裏側を学芸員がご紹介します。
材料費	無料	

<b>20 木炭で描くデッサン教室</b>		<b>参加者人数 26人</b>
日数・開催日	11月10日(日) 午前・午後	講師：山中マンボウさん(アーティスト)他
対象	小中学生	内容：静物モチーフを鉛筆デッサンし、水彩で着彩する。
材料費	300円	

<b>21 みんなの光るどろだんご</b>		<b>参加者人数 23人</b>
日数・開催日	11月16日(土) 午前の部・午後の部	講師：岩月真由子さん(土の美術家)
対象	小中学生	内容：左官の技法「千石磨き」を使って光るどろだんごを作ります。
材料費	1000円	

<b>22 藤山麻美氏による美術造形教室～解体から造形へ～</b>		<b>参加者人数 23人</b>
日数・開催日	11月30日(土)	講師：藤山麻美さん(美術家・美術造形教室主宰)
対象	小学生～一般	内容：時計やカメラを分解してオブジェ、アクセサリーを作ります。
材料費	1000円	

<b>23 銅版画講座 エッチングでつくるクリスマスカード</b>		<b>参加者人数 11人</b>
日数・開催日	12月8日(日)	講師：城戸宏さん(版画工房主宰)
対象	中学生～一般	内容：銅版画技法のエッチングでクリスマスカードを作ります。
材料費	1100円	

<b>24 親子で遊ぼう！！アートカードゲーム</b>		<b>参加者人数 10人</b>
日数・開催日	12月14日(土)	講師：当館学芸員
対象	親子(小中学生)	内容：展覧会鑑賞とアートカードゲームで美術に親しみます。
材料費	無料	

<b>25 キッズ鑑賞ツアー(子育て支援プログラム)</b>		<b>参加者人数 19人</b>
日数・開催日	12月19日(木)	講師：富田めぐみさん(アートで子育てアドバイザー)
対象	親子(園児～小学生・赤ちゃん同伴可)	内容：保護者と赤ちゃんと一緒に展示室で所蔵品展を鑑賞します。
材料費	無料	

<b>26 遊んでのびのび 赤ちゃんアート 冬コース(子育て支援プログラム)</b>		<b>参加者人数 45人</b>
日数・開催日	2014年1月9日(木),2月6日(木),3月6日(木)連続講座	講師：富田めぐみさん(アートで子育てアドバイザー)
対象	親子(1才～2才3ヶ月)	内容：幼児は美術を通して家では出来ない体験をし、お母さんは子どもの成長と子育てに関する悩みを解消します。
材料費	500円	

<b>27 表装文化伝統体験「ミニ屏風 作りに挑戦」</b>		<b>参加者人数 20人</b>
日数・開催日	2月1日(土),15日(土),23日(日)連続講座	講師：長谷部雄三さん、小林喜代美さん(表装文化伝承支援協会理事)
対象	高校生～一般	内容：ミニ屏風を作ります。
材料費	2000円	

28 木口木版画に挑戦		参加者人数 14人
日数・開催日	3月2日(日),16日(日),23日(日)	講師：三塩佳晴さん(版画家)
対象	親子(小中学生)	内容：木口木版画を作ります。
材料費	3000円	

29 リポート鑑賞会(子育て支援プログラム)		参加者人数 36人
日数・開催日	3月18日(火)	講師：富田めぐみさん(アートで子育てアドバイザー)
対象	2012年度に赤ちゃん/キッズアートに参加した親子	内容：2012年度に赤ちゃんアート・キッズアートに参加した方を対象に展覧会を鑑賞し、この1年の変化を伺いました。
材料費	無料	

30 キッズ鑑賞ツアー(子育て支援プログラム)		参加者人数 20人
日数・開催日	3月18日(火)	講師：富田めぐみさん(アートで子育てアドバイザー)
対象	親子(園児～小学生・赤ちゃん同伴可)	内容：保護者と赤ちゃんと一緒に展示室で所蔵品展を鑑賞します。
材料費	無料	

## スクールプログラム

16プログラムを実施し、298人が参加しました。

担当：安部沙耶香(当館学芸員)、安田知美(当館嘱託員)

1 先生のための美術鑑賞広場 みづ系の魅力展		参加者人数 6人
日数・開催日	6月1日(土)	講師：当館学芸員
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容：学校の先生向けの鑑賞プログラム。水彩画展を鑑賞し、話し合いをします。
材料費	無料	

2 平塚市小学校校長会		参加者人数 28人
日数・開催日	6月6日(木)	講師：当館学芸員
対象	平塚市小学校校長会の教員	内容：ギャラリートーク・スクールプログラムの説明を行います。
材料費	無料	

3 伊勢原市小学校教育研究会		参加者人数 20人
日数・開催日	7月24日(水)	講師：当館学芸員
対象	伊勢原市小学校教育研究会の教員	内容：ギャラリートークを行います。
材料費	無料	

4 授業力向上研修講座～新学習指導要領が目指すもの～		参加者人数 22人
日数・開催日	7月31日(水)	講師：当館学芸員
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容：県立総合教育センターの依頼。バックヤードツアー、ギャラリートーク、アートカードゲームを行います。
材料費	無料	

5 平塚市小学校教育研究会 図画工作研究会研修		参加者人数 48人
日数・開催日	8月2日(金)	講師：当館学芸員
対象	小学校教育研究会 図画工作研究会	内容：館長の講演会、展覧会ギャラリートーク、アートカードゲームを行います。
材料費	無料	

6 缶バッジづくり体験ワークショッププレ		参加者人数 5人
日数・開催日	8月7日(水)	講師：当館学芸員
対象	中学生	内容：「絵の具と遊ぼう缶バッジづくり」を手伝ってくれる中学生ボランティアを対象とした説明会を行います。
材料費	無料	

7 中学生のためのアート・サマーセミナー		参加者人数 4人
日数・開催日	8月13日(火)	講師：当館学芸員
対象	中学校美術部の生徒と引率の教員	内容：三瀬夏之介展関連プログラム。美術に興味のある中学生を対象としたレクチャーを行います。
材料費	無料	

8 中学生のためのアート・サマーセミナー		参加者人数 14人
日数・開催日	8月14日(水)	講師：当館学芸員
対象	中学校美術部の生徒と引率の教員	内容：三瀬夏之介展関連プログラム。美術に興味のある中学生を対象としたレクチャーを行います。
材料費	無料	

9 先生のための美術鑑賞広場 はじめての美術 絵本原画の世界 2013		参加者人数 9人
日数・開催日	8月20日(火)	講師：当館学芸員
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容：学校の先生向けの鑑賞プログラム。絵本原画展を鑑賞し、話し合いをします。
材料費	無料	

10 先生向け体験ワークショップ 木版画講座		参加者人数 12人
日数・開催日	8月21日(水)	講師：三塩佳晴さん(版画家)
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容：学校の先生向けの実技体験プログラム。学校の授業で習う木版画の実技体験を行います。
材料費	1000円	

11 大住中学校区三校交流研修会		参加者人数 57人
日数・開催日	8月27日(火)	講師：当館学芸員
対象	岡崎小、城島小、大住中教員	内容：バックヤードツアー、ギャラリートーク、アートカードゲームを行います。
材料費	無料	

12 先生のための美術鑑賞広場 伊豆市コレクション展		参加者人数 1人
日数・開催日	11月2日(土)	講師：当館学芸員
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容：学校の先生向けの鑑賞プログラム。伊豆市コレクション展を鑑賞し、話し合いをします。
材料費	無料	

13 秦野市中学校教育研究会研修		参加者人数 10人
日数・開催日	11月12日(火)	講師：当館学芸員
対象	秦野市中学校教育研究会の教員	内容：スクールプログラムの説明、アートカードゲーム、ギャラリートークを行います。
材料費	無料	

14 神奈川県立平塚養護学校 缶バッジ作りワークショップ		参加者人数 29人
日数・開催日	12月12日(木)	講師：当館学芸員
対象	平塚養護学校の生徒と引率教諭	内容：缶バッジ作り体験をします。
材料費	材料持参	

15 平塚市適応指導教室 缶バッジ作りワークショップ		参加者人数 11人
日数・開催日	1月24日(金)	講師：当館学芸員
対象	適応指導教室の生徒と引率教諭	内容：アートカードゲーム、展覧会鑑賞、缶バッジ作り体験をします。
材料費	材料持参	

16 南原保育園 園児鑑賞ツアー		参加者人数 22人
日数・開催日	2月7日(金)	講師：富田めぐみ(アートで子育てアドバイザー)
対象	南原保育園 年長組	内容：所蔵名品展 の鑑賞ツアーを行いました。
材料費	無料	

17 先生のための美術鑑賞広場～アートカード活用講座～		大雪のため中止
日数・開催日	2月8日(土)	講師：当館学芸員
対象	小・中・高・特別支援学校の教職員	内容：学校の先生向けの鑑賞プログラム。アートカードの活用法を学びます。
材料費	無料	

## アートカード

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットが10月上旬に完成しました。アートカードセットの作成にあたっては、中学校教育研究部会美術部会の先生方のご協力をいただいております。市立小中学校に各8セットずつ配布。12月末までに16校(小学校15校、中学校1校)が活用したとの報告がありました。なお、学校向け教材として無料貸出も行っています。

貸出先	4校(中学校2校、小学校2校)
貸出学校所在地域	小田原市2校、伊勢原市・秦野市各1校
貸出個数	38個



## 広報活動

展覧会毎にプレスリリース、ポスター、チラシを作成して広報活動を行った結果、下記のメディアに掲載されました。また、PRのためのウェブ会員システムを利用し、多様なメディア関係者への情報提供も併せて行いました。

担当：江口恒明(当館学芸員)

### 絹谷幸二展 - 希望のイメージ - 4月13日(土)~6月2日(日)

	メディア	掲載年月日	巻号・掲載面	タイトル(著者名)等
1	あさひ タウンメイト	2013年3月	vol.199	イベント 絹谷幸二展 希望のイメージ
2	産経新聞	2013年5月2日	(11)文化	模写、自画像、受賞作・・・軌跡をたどる 40点
3	しんぶん 赤旗	2013年5月8日	(9)	美術展
4	神静民報	2013年5月14日	(2)	平塚市美術館 特集展 絹谷幸二展 希望のイメージ 6月2日まで

### 水彩画 みづゑの魅力 - 明治から現代まで - 4月20日(土)~6月16日(日)

	メディア	掲載月日	巻号・掲載面	タイトル【著者名】
1	びいーゆ	2013年4月	No.370	水彩画 みづゑの魅力 明治から現代まで
2	月刊モエ	2013年4月3日	5月号	今月の展覧会
3	神奈川新聞	2013年4月20日	(12)地域	水彩画の魅力堪能 平塚市美術館 日本の170点を紹介
4	読売新聞	2013年4月21日	(33)地域	水彩画の歴史と魅力 平塚市美術館で企画展
5	クオリア アートコンシェルジュ通信	2013年5月	vol.20	ART EVENT/展覧会情報
6	新潟日報	2013年5月14日	(17)文化	「みづゑの魅力」展 水彩の新鮮さ 軽さが際立つ
7	高知新聞	2013年5月14日	学芸	「みづゑの魅力」展 水彩画の歴史をたどる
8	書道界	2013年5月15日	No.282	水彩画 みづゑの魅力 明治から現代まで
9	朝日新聞	2013年5月15日	(3)文化	水彩画 みづゑの魅力 日常性と豊かな表現力
10	サンデー毎日	2013年5月19日	第92巻第19号	SUNDAY LIBRARY Art Scene 水彩画 みづゑの魅力
11	MOSTLY CLASSIC	2013年5月20日	vol.194	「水彩画 みづゑの魅力 明治から現代まで」展 平塚市美術館
12	熊本日日新聞	2013年5月20日	(15)	水彩の魅力 明治から現代まで 神奈川で展覧会
13	美しいキモノ	2013年5月20日	夏号	EXHIBITION
14	朝日新聞	2013年5月21日	(7)夕刊	朝日カルチャーセンター湘南
15	読売新聞	2013年5月22日	(28)地域	みずみずしい春の気配(上)【土方明司】
16	読売新聞	2013年5月23日	(32)地域	夭折の天才、18歳の詩心(中)【土方明司】
17	読売新聞	2013年5月26日	(30)地域	微妙で繊細 独自の単色(下)【土方明司】
18	毎日新聞	2013年5月20日	(3)	アート小路「水彩画 みづゑの魅力」展
19	徳島新聞	2013年5月24日	(11)文化	平塚市美術館で水彩画展 際立つ新鮮さや即興性
20	静岡新聞	2013年5月24日	(8)特集	「みづゑの魅力」展 平塚市美術館 際立つ水彩の新鮮さ
21	日本海新聞	2013年5月28日	(8)文化	新鮮さ、軽さ、即興性「喉を潤す」水彩画みづゑ展

	メディア	掲載月日	巻号・掲載面	タイトル【著者名】
22	愛媛新聞	2013年5月28日	(18)文化	新鮮 際立つ即興性「水彩画 みづ糸の魅力」展
23	山陽新聞	2013年5月30日	(6)夕刊	水彩の新鮮さ、軽さ、即興性 神奈川で「みづ糸の魅力」展

### 日本の絵 三瀬夏之介展 7月13日(土)~9月16日(日)

	メディア	掲載月日	巻号・掲載面	タイトル【著者名】
1	tag boat tokyo ART GUIDE	2013年7月	vol.62	日本の絵 三瀬夏之介展
2	美術の窓	2013年8月20日	No.359	展覧会情報
3	月刊アートコレクターズ	2013年8月25日	No.53	風景画は一枚々々が小宇宙だ。
4	週刊金曜日	2013年8月30日	957号	日本の絵 三瀬夏之介展
5	美術の窓	2013年9月	No.360	現代美術の最前線
6	神静民報	2013年7月23日	(2)	平塚市美術館特集展 日本の絵 三瀬夏之介 9月16日まで
7	毎日新聞	2013年7月31日	(5)文化	三瀬夏之介展「日本の絵」 列島全体を洞察
8	神奈川新聞	2013年8月2日	文化(16)	伝統踏まえカオスの世界 日本の絵 三瀬夏之介展
9	東京新聞	2013年8月9日	夕刊(7)文化	「三瀬夏之介 日本の絵」展 等身大の日本を見よ
10	朝日新聞	2013年8月21日	夕刊(3)文化	「三瀬夏之介 日本の絵展」 巨大画面、土俗的な力
11	読売新聞	2013年9月5日	(17)	混沌とした「日本の絵」
12	朝日新聞	2013年12月18日	(3)文化	回顧2013 ワカラナイの可能性

### はじめての美術 絵本原画の世界2013 7月27日(土)~9月8日(日)

	メディア	掲載月日	巻号・掲載面	タイトル【著者名】
1	月刊 ezpress	2013年6月1日	vol.58	はじめての美術 絵本原画の世界2013
2	全国主要美術館スケジュール	2013年6月1日	6・7月号	はじめての美術 絵本原画の世界2013
3	あさひタウンメイト	2013年6月	vol.204	インフォメーション
4	カフェ・湘南よみうり	2013年6月22日	vol.34	夏のおでかけ情報 美術館に行こう
5	月刊モエ	2013年7月3日	406号	今年の夏、日本を代表する絵本原画に出会えます！ はじめての美術 絵本原画の世界2013
6	定年時代	2013年8月	(7)	美術
7	びいーゆ	2013年8月1日	No.374	はじめての美術 絵本原画の世界2013
8	月刊クーヨン	2013年8月3日	239号	Petit Journey Exhibition みんなが好きなあの絵本に出会える
9	美術の窓	2013年8月20日	No.359	夏休みに親子で行こう！！
10	読売新聞	2013年7月28日	(29)地域	絵本の原画一堂に 平塚市美術館で企画展
11	神静民報	2013年8月6日	(2)	はじめての美術 絵本原画の世界2013
12	しんぶん赤旗	2013年8月7日	(9)	美術展
13	神奈川新聞	2013年8月21日	(7)文化	絵本原画の魅力を「ぐりとぐら」「おおきなかぶ」...ロングセラーなど人気作並ぶ

### 藤山貴司展 -闇と光の交錯 その彷徨と回顧- 9月21日(土)~12月1日(日)

	メディア	掲載月日	巻号・掲載面	タイトル【著者名】
1	ギャラリー	2013年9月1日	341号	今月の展覧会50+
2	新美術新聞	2013年8月21日	(5)	下半期展覧会カレンダー
3	朝日新聞	2013年11月6日	夕刊(3)文化	没後一年 宇佐美圭司展 藤山貴司展

友好都市提携記念特別展 伊豆市コレクションによる天才たちの若き日 - 横山大観から速水御舟まで - 10月12日(土)~11月24日(日)

	メディア	掲載月日	巻号・掲載面	タイトル【著者名】
1	タウンニュース	2013年9月26日	No1328	伊豆ゆかりの画家一堂に
2	あさひタウンメイト	2013年10月	vol.212	伊豆市コレクションによる天才たちの若き日ー横山大観から速水御舟まで
3	ぱど	2013年11月1日	No.580	美術館・ギャラリー 友好都市提携記念
4	神奈川新聞	2013年9月25日	(16)地域	友好都市・伊豆市コレクション 若き大観ら64点展示
5	東京新聞	2013年10月2日	(24)地域	横山大観らの近代日本画展 平塚市美術館
6	毎日新聞	2013年10月3日	(25)湘南	日本画展「天才たちの若き日」 伊豆市所蔵のコレクション紹介

所蔵名品展 - 美術館で遊ぼう!! - 12月7日(土)~平成26年2月9日(日)

	メディア	掲載月日	巻号・掲載面	タイトル【著者名】
1	毎日新聞	2013年10月12日	(19)神奈川	所蔵作48点 アートカードに
2	タウンニュース平塚版	2013年10月24日	No.1332	所蔵作品をカードに
3	湘南ジャーナル	2013年10月25日	No.1588	平塚市美術館がアートカードを作成 カードゲームで芸術に親しんで

## その他の事業

### (1) 事業

#### ホームページでの所蔵作品情報の公開 5月～3月

HP（アーカイブ・所蔵作品ページ）にて2005年以降に収集した作品を中心に、150点の所蔵品を追加し公開した。

#### 第36回 平塚市展 6月30日(日)～7月15日(月・祝)

主催	平塚市展委員会
協力	平塚市教育委員会・平塚書道協会・湘南美術工芸研究会・平塚美術家協会・平塚写真連盟
後援	平塚市・平塚市文化連盟・平塚商工会議所・SCN湘南ケーブルネットワーク(株)・FM湘南ナパサ・(公財)平塚市まちづくり財団
場所	展示室、市民アートギャラリー
日数	14日
参加者数	4,930人



実施風景



#### 七夕飾り 7月2日(火)～7日(日)

主催	平塚市美術館
内容	平塚の七夕祭りにあわせて、ワークショップ「江戸の伝統紙細工～七夕の紋切り遊び」で制作した七夕飾りを展示しました。1日の午後からワークショップ講師、参加者の方々により飾りつけられ、来館者の目を楽しませていました。 展示指導 下中菜穂氏(ワークショップ講師、紋切り作家)
場所	テーマホール
日数	6日
参加者数	自由観覧



実施風景

**ユニコーンの貸出作業を DVD で上映 7月11日(木)~9月16日(月・祝)**

内容	平塚市美術館から三重県立美術館へ貸出された三沢厚彦作品の搬出作業を DVD で紹介。
場所	1階エントランス
日数	59日間
参加者数	自由観覧

**ミュージアムライブ「アラウンド ザ ワールド」 9月28日(土)**

主催	平塚市美術館
内容	湘南エリアをメインに活躍している片倉広義氏と片倉義人氏の親子ユニット「ザ・ハーモニック」のハーモニカとパーカッション、木崎二郎氏のピアノの演奏によるライブを開催いたしました。
場所	ミュージアムホール
参加者数	65人



実施風景

**こども年賀状とおとな絵手紙展 1月7日(火)~1月13日(月・祝)**

主催	平塚市美術館
内容	美術館をより身近に感じてもらうための取り組みとして、美術館への年賀状と絵手紙作品を募集し、それらを1階市民アートギャラリーに展示しました。会場内には「お返事コーナー」や「ペーパークラフトコーナー」を設けて、来場者に楽しんでいただきました。展覧会は総勢19名のボランティアスタッフの方のご協力のもとに作り上げました。
場所	市民アートギャラリー 全室
日数	7日間
作品総数	197点
来場者数	517人



実施風景



## ミュージアムライブ「いちやりばちょーでー」3月1日(土)

主催	平塚市美術館
内容	クイチャーパラダイスによる、宮古島の伝統芸能をはじめとした三線・沖縄民謡・舞踊のライブを開催しました。
場所	テーマホール
参加者数	204人



実施風景



## (2) 団体向け研修・体験プログラム

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
1	学習	4月25日(木)	南ブロック公民館(富士見・崇善・松原、なでしこ、須賀、花水)	「絹谷幸二展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	28人
2	学習	5月9日(木)	南ブロック公民館(富士見・崇善・松原、なでしこ、須賀、花水)	「水彩画展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	26人
3	研修	5月19日(日)	日本大学生物資源科学部	事業概要説明と展覧会・施設見学	36人
4	学習	5月28日(火)	市民活動団体 平塚MAC	「絹谷幸二展」見学とレクチャー	23人
5	学習	5月29日(水)	東ブロック公民館(大野・八幡・四之宮・中原・松が丘・大原・南原)	「水彩画展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	38人
6	視察	5月29日(水)	町田市立博物館	事業概要と運営体制説明、施設見学	5人
7	学習	5月30日(木)	神田公民館	「水彩画展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	18人
8	学習	5月31日(金)	大神公民館	「水彩画展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	16人
9	研修	6月11日(火)	平塚市子ども教育相談センター	事業概要説明と展覧会・施設見学	10人
10	学習	8月8日(木)	岡崎公民館	「絵本原画展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	23人
11	学習	8月15日(木)	西ブロック公民館(金目・金田・土屋・吉沢・旭北・旭南)	「絵本原画展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	9人
12	学習	8月17日(土)	西ブロック公民館(金目・金田・土屋・吉沢・旭北・旭南)	「絵本原画展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	15人
13	研修	8月21日(水)	大井町子ども会育成者連絡協議会	「絵本原画展」レクチャー・施設見学	23人
14	学習	8月22日(木)	南ブロック公民館(富士見・崇善・松原、なでしこ、須賀、花水)	「絵本原画展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	29人

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
15	学習	8月27日(火)	大神公民館	「絵本原画展・三瀬展」見学とレクチャー (公民館自主事業美術鑑賞講座)	11人
16	学習	9月4日(水)	東ブロック公民館(大野・八幡・四之宮・中原・松が丘・大原・南原)	「絵本原画展・三瀬展」見学とレクチャー (公民館自主事業美術鑑賞講座)	45人
17	学習	9月6日(金)	よこすか文庫連絡会	「絵本原画展」見学とレクチャー	17人
18	学習	9月6日(金)	町田福祉保育専門学校	「絵本原画展」見学とレクチャー	28人
19	学習	10月12日(土)	開成町教育委員会	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー (開成町生涯学習講座)	26人
20	学習	10月17日(木)	焼津市小川公民館	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー	34人
21	学習	10月22日(火)	神田公民館	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	22人
22	学習	10月24日(木)	市民活動団体 平塚MAC	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー	22人
23	学習	10月24日(木)	金目公民館	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	24人
24	学習	10月30日(水)	アート21	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー	20人
25	学習	10月31日(木)	花水公民館	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	27人
26	学習	10月31日(木)	平塚市工業会連合会	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー	30人
27	学習	11月6日(水)	厚木市立玉川公民館	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー (学級・講座「ふれあい遊学塾」)	48人
28	学習	11月6日(水)	岡崎公民館	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	25人
29	学習	11月7日(木)	日本セカンドライフ協会	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー	7人
30	学習	11月10日(日)	伊豆市役所社会教育課	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー	15人
31	学習	11月12日(火)	三越伊勢丹旅行営業部	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー	14人
32	学習	11月14日(木)	西ブロック公民館(金目・金田・土屋・吉沢・旭北・旭南)	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	34人
33	学習	11月15日(金)	東ブロック公民館(大野・八幡・四之宮・中原・松が丘・大原・南原)	「伊豆市・藤山展」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	30人
34	学習	11月16日(土)	西ブロック公民館(金目・金田・土屋・吉沢・旭北・旭南)	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	21人
35	学習	11月22日(金)	大神公民館	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー (公民館自主事業 美術鑑賞講座)	23人
36	学習	11月23日(土)	慶応三田観世会	「伊豆市コレクション」見学とレクチャー	31人
37	学習	11月24日(日)	美術検定アートナビゲーター	「伊豆市・藤山展」見学とレクチャー	6人
38	学習	12月10日(火)	特定非営利活動法人ワークーズ・コレクティブさち	「所蔵名品展」見学とレクチャー	9人

No	種別	開催日	団体名	内容	人数
39	視察	12月17日(火)	湯河原町教育委員会	「所蔵名品展」見学	7人
計					875人

### (3) 実習および職場体験受け入れ

#### 博物館実習の受け入れ

当館の事業に携わることで学芸員の職務を理解することを目的に、美術を専攻する博物館学実習生を、平成25年6月から12月まで7大学から8人を受け入れ、実習を行いました。

#### 職場体験の受け入れ

市内の中学生、高校生等が現場で仕事を実際に体験することによって、社会性・勤労観やマナーを身につけ、将来の職業選択につながるよう、職場体験の受け入れを行っています。

No	実施日	参加者	人数	内容
1	7月9日(火)	崇善小学校	9名(男4、女5)	職場訪問(施設見学、質疑)
2	7月17日(水)	大磯高等学校	20名(男6、女14)	館の概要講義及び施設見学
3	7月18日(木)	武蔵野美術大学	1名(女1)	職場訪問(施設見学、質疑)
4	9月25日(水)	東京大学	3名(男1、女2)	館の概要講義及び施設見学
5	11月12日(火)	太洋中学校	4名(男3、女1)	館の概要講義及び業務体験
6	11月14日(木)	浜岳中学校	4名(女4)	館の概要講義及び業務体験
7	1月16日(木)	神明中学校	3名(女3)	館の概要講義及び業務体験
8	1月30日(木)	大住中学校	4名(男2、女2)	館の概要講義及び業務体験
9	3月4日(火)	神田中学校	16名	職場訪問(施設見学、質疑)
				参加者 計 64人

### (4) 定例会議

#### 美術館協議会

委員(敬称略) 8名

水沢勉(学識経験者)、河野孝博(学識経験者)、平野恵美子(社会教育関係者)、栗木雄剛(学校教育関係者)、鈴木靖(学校教育関係者)、後藤但克(学校教育関係者)、加藤宏(社会教育関係者)、田平富貴子(家庭教育の向上に資する活動を行う者)

開催日/議題

第1回 平成25年8月8日(木) 平成25年度事業計画及び今までの事業結果について

第2回 平成26年3月14日(金) 平成25年度下半期事業報告、平成26年度事業計画(案)について

#### 美術品選定評価委員会

開催日：平成25年12月18日(水) 寄贈・寄託作品の選定評価について

委員(敬称略) 5名

酒井忠康(学識経験者)、橋秀文(学識経験者)、荒屋鋪透(学識経験者)、鶴見香織(学識経験者)、猿渡紀代子(学識経験者)



## (5) その他

企画展「はじめての美術 絵本原画の世界 2013」で、午後 6 時までの開館延長と三世代割引を実施した。

SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) の活用として、YOU-TUBE での動画配信を 7 月 31 日から始めた。

神奈川県立花と緑のフラワーセンター「花菜ガーデン」との相互割引  
平塚市美術館と花菜ガーデンとの間において、観覧料(入場料)の相互割引及び連携を 4 月 1 日から実施した。

花菜ガーデンの入園券の提示により

観覧券	企画展	特集展
一般	2 割引	3 割引
高大生		
市外 65 歳以上		

小・中学生及び市内 65 歳以上の方は無料

花菜ガーデンは、平塚市美術館の観覧券提示で一律 100 円割引 (中学生以下は対象外)

## 施設利用者等の統計

### (1) 展覧会

#### 展覧会観覧状況 月別統計

月	開館日数	企画展	特集展	ロビー展	合計
4月	25日	1,656人	1,986人	-	3,642人
5月	28日	7,340人	6,730人	-	14,070人
6月	26日	5,108人	709人	-	5,817人
7月	26日	2,441人	2,539人	-	4,980人
8月	27日	17,805人	13,406人	-	31,211人
9月	25日	6,448人	5,806人	-	12,254人
10月	27日	2,726人	2,732人	-	5,458人
11月	27日	4,874人	4,322人	-	9,196人
12月	24日	0人	975人	209人	1,184人
1月	24日	0人	923人	176人	1,099人
2月	24日	0人	570人	138人	708人
3月	26日	0人	839人	151人	990人
4月	6日	0人	242人	55人	297人
計	315日	48,398人	41,779人	729人	90,906人

#### 学校観覧

		企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	4校	274人	27人	6校	425人	28人
	市外	6校	346人	19人	12校	923人	46人
中学校	市内	8校	80人	15人	9校	93人	22人
	市外	8校	125人	9人	8校	125人	9人
高等学校		2校	9人	2人	4校	49人	11人
計		28校	834人	62人	39校	1,615人	116人

### (2) 貸出施設

#### 市民アートギャラリー 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	25日	5団体	2,938人
5月	30日	7団体	6,287人
6月	40日	5団体	6,463人
7月	17日	4団体	4,122人
8月	24日	7団体	7,270人
9月	24日	6団体	5,845人
10月	32日	5団体	4,382人
11月	24日	7団体	8,715人
12月	19日	5団体	3,036人
1月	24日	5団体	4,621人
2月	24日	6団体	3,039人
3月	24日	8団体	3,838人
計	307日	70団体	60,556人

### ミュージアムホール 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	9日	9団体	742人
5月	-	-	-
6月	7日	7団体	309人
7月	11日	11団体	768人
8月	-	-	-
9月	5日	6団体	246人
10月	2日	2団体	250人
11月	2日	2団体	152人
12月	8日	9団体	625人
1月	9日	8団体	645人
2月	6日	8団体	411人
3月	9日	9団体	565人
計	68日	71団体	4,713人

5月・8月は、企画展DVD上映のため利用団体はありません。

### アトリエ 月別統計

月	利用日数	団体数	入場者数
4月	0日	0団体	0人
5月	0日	0団体	0人
6月	0日	0団体	0人
7月	1日	1団体	14人
8月	2日	2団体	34人
9月	0日	0団体	0人
10月	2日	2団体	69人
11月	1日	1団体	31人
12月	1日	1団体	20人
1月	11日	1団体	244人
2月	1日	1団体	6人
3月	1日	1団体	30人
計	20日	10団体	448人

# 施設の管理

## ( 1 ) 防災訓練

下記の内容で防災訓練を実施しました。

実施日時：6月4日(火)9:00～9:30

想定：美術館1階の「市民アートギャラリー厨房」で火災発生、施設利用者20人が来館中。

内容：通報・消火(水消火器を使用)・避難誘導訓練、各自の役割・展示室からの避難経路の確認。

## ( 2 ) 施設修繕等

定例施設保全の他に下記の内容の修繕等を実施した。(大・中規模修繕のみ記載)

自動ドア修繕工事

実施日時：平成25年4月30日(火)

内容：美術館2階の円型自動ドアのエンジン部品の交換修繕を実施。

池用循環水配管設置工事

実施日時：平成25年5月31日(金)～6月21日(金)

内容：美術館南側の池について、既存埋設管老朽化に伴い配管を新設。

# 沿革

## 1971年(S46)

11月 フクスケ画廊2周年記念パーティに集った作家たちより「平塚市へ美術館建設の要望をすること」の申請なされる。加藤一太郎市長、平野博収入役より「一作家一点寄贈運動」の提案。

## 1977年(S52)

3月 新設された平塚市博物館で「平塚市所蔵美術展」の開催、あわせて『平塚市所蔵美術品目録』の発行。  
9月 企画展「鳥海青児と昭和の画家たち展 神奈川芸術祭」(神奈川県立近代美術館共催)、会場は平塚市博物館。

## 1982年(S57)

5月 社会教育委員会議長名で「平塚市美術館建設について」の建議が教育長宛になされる。

## 1984年(S59)

4月 石川京一市長が美術館建設を公約として、市長選2期目に再選される。  
5月 「美術館建設研究委員会」発足(庁内組織 委員長:山本桂一郎 教育委員会指導部)。  
9月 平塚美術協会が「平塚市美術館早期促進建設の為の陳情書」を市に提出。

## 1985年(S60)

7月 「平塚市美術館建設基本構想策定委員会」設置(～1986年まで全8回開催)。  
構成委員は次の通り。落合良延、陰里鉄郎、匠秀夫、田中稔、原田実、平野博、升水滋、水島英耀、湯井勝(敬称略)。

## 1986年(S61)

3月 「平塚市美術館建設基本構想策定」答申。湘南の中心に位置する美術館としてメインテーマを「湘南の美術・光」とする。  
4月 「美術館建設基本計画策定連絡協議会」の設置(庁内組織)。  
「第1回平塚市美術品選定評価委員会」の開催(於 平塚市博物館)。  
9月 「平塚市美術館新築設計技術提案審査会」発足。プロポーザル予備審査会、本審査会を開催、9社の提案を審査。

## 1988年(S63)

1月 大蔵省との美術館建設用地払い下げ契約完了。(株)日建設計と委託契約。  
4月 「平塚市教育委員会指導部美術館建設準備室」として博物館から独立、設置。

## 1989年(H元)

3月 「仮称平塚市美術館建築工事(本体工事費)」の議決なされる。  
7月14日 「平塚市美術館建設起工」。仮称平塚市美術館新築工事安全祈願祭に石川市長ほか関係者約70名が出席。

## 1990年(H2)

10月 「平塚市美術館本体工事」竣工。  
12月 「平塚市美術館条例」公布。

## 1991年(H3) 平塚市美術館開館

3月 美術館のシンボル彫刻《コンストラクション#115》ホセ・デ・リヴェラ作の搬入設置。  
3月25日 平塚市美術館開館(初代館長に原田実が就任)、記念式典の開催。26日より一般公開。  
開館記念展「スイス プチパレ美術館名品展 タルコフとエコール・ド・パリの画家たち」～5月5日まで。  
5月18日～6月16日 開館記念展「湘南の萬鉄五郎」  
7月 「平塚市展」はこの第14回展以降毎年、平塚市美術館展示室と市民アートギャラリーで開催。

## 1992年(H4)

3月20日～4月19日 「市制60周年記念 相模の禅僧 風外慧薫作品展 平塚市博物館所蔵・高瀬コレクション」  
7月 第15回平塚市展から「美術館賞」の設定、審査は館長が行う。  
11月14日～12月13日 「市制60周年記念 田中真洲回顧展」開催。

## 1993年(H5)

7月 博物館実習生の受け入れを開始。

## 1994年(H6)

3月 教育普及活動関連冊子ワークショップオリジナルブック 「読むワークショップ」の刊行開始(年2冊～1999年)。

#### 1995年(H7)

4月 教育普及活動において、市民参加型長期プログラム「ワークショップクラブ」発足。

#### 1996年(H8)

11月9日～12月22日 開館5周年記念展「ミレーとバルビゾン派の画家たち」開催。

10月 美術館内における総合的な地震対策の開始：彫刻転倒防止措置、スポットライト落下防止措置等。

#### 1997年(H9)

4月 2代目館長に福田徳樹（フクダ トシキ）就任。

#### 1999年(H11)

5月 常設展示を発展させた、所蔵品による「特集展示」の企画開始。

#### 2000年(H12)

10月14日～22日 平塚市神奈川大学交流提携10周年記念「開港期の神奈川・世界が見た日本」展開催。

#### 2001年(H13)

7月26日～9月30日 開館10周年記念展「湘南の美術・光 美術館建設運動から開館10周年まで」開催。

#### 2002年(H14)

2月9日～3月24日 開館10周年記念展「日本画の巨匠 安田靉彦 歴史画の魅力」開催。

4月 「平塚市美術館友の会」発足。

11月2日～12月23日 市制70周年記念「原精一 人間表現の魅力」展開催。

#### 2003年(H15)

2月2日～3月30日 平塚市・神奈川大学交流事業 地域コレクションシリーズ 「神奈川大学図書館所蔵 パリ・コミュニケーションの風刺画 1871年ペンと大砲の市民革命」展開催。

#### 2004年(H16)

4月 3代目館長に、草薙奈津子（クサギ ナツコ）就任。

#### 2005年(H17)

7月23日～9月11日 「生誕100年記念 三岸節子展」開催。

#### 2006年(H18)

1月～3月 展示室可動壁のクロス張替え作業のため休室。

9月20日 皇后美智子さまがご来館。

「世界の絵本がやってきた プラティスラヴァ世界絵本原画展」をご鑑賞されました。

10月14日～11月26日 開館15周年記念展「日本画の巨匠 山本丘人展」開催。

#### 2007年(H19)

4月14日～5月27日 「三沢厚彦アニマルズ+PLUS展」開催。

9月15日～11月4日 「絵で読む宮沢賢治展 賢治と絵本原画の世界展」開催。

#### 2008年(H20)

2月2日～3月23日 河野通勢展 美術館連絡協議会の2008年度「美連協大賞」を受賞。

11月7日 妃殿下秋篠宮紀子さまがご来館。

「近代日本画の巨匠 速水御舟 - 新たなる魅力展」をご鑑賞されました。

#### 2009年(H21)

7月11日～9月6日 「山本直彰展 帰還する風景」開催。

7月18日～8月30日 「わたしがえらんだいわさきちひろ展」39,844人の観覧者を記録し歴代入場者数1位となる。

#### 2010年(H22)

4月17日～6月13日 「平明・静謐・孤高 - 長谷川湊二郎展」開催。

#### 2011年(H23)

3月11日 東日本大震災発生。美術館に被害なし。電力不足を考慮し、臨時休館を実施。

4月16日～6月12日 開館20周年記念展「画家たちの二十歳の原点」開催。

6月 事務室のLED化実施

7月 湘南フレンズ倶楽部発足

7月16日～9月4日 開館20周年記念展「花ひらくエコール・ド・パリの画家たち」開催。

10月22日～11月27日 開館20周年記念展「伊東深水 - 時代の目撃者」開催。

#### 2012年(H24)

1月～3月 空調工事のため休館

3月 展示室・研修室の・アトリエのLED化実施

4月14日～6月3日 市制80周年記念「棟方志功展」開催。

4月21日～6月10日 「木下晋の世界展 - 祈りの心 - 」開催。

7月21日～9月2日 市制80周年記念「上村松園と籀木清方展」開催。

**2013年(H25)**

4月13日～6月2日 「絹谷幸二展 - 希望のイメージ - 」開催。

7月27日～9月8日 「はじめての美術 絵本原画の世界2013」開催。

10月12日～11月24日 友好都市提携記念特別展「伊豆市コレクションによる天才たちの若き日 - 横山大観から速水御舟まで - 」開催。